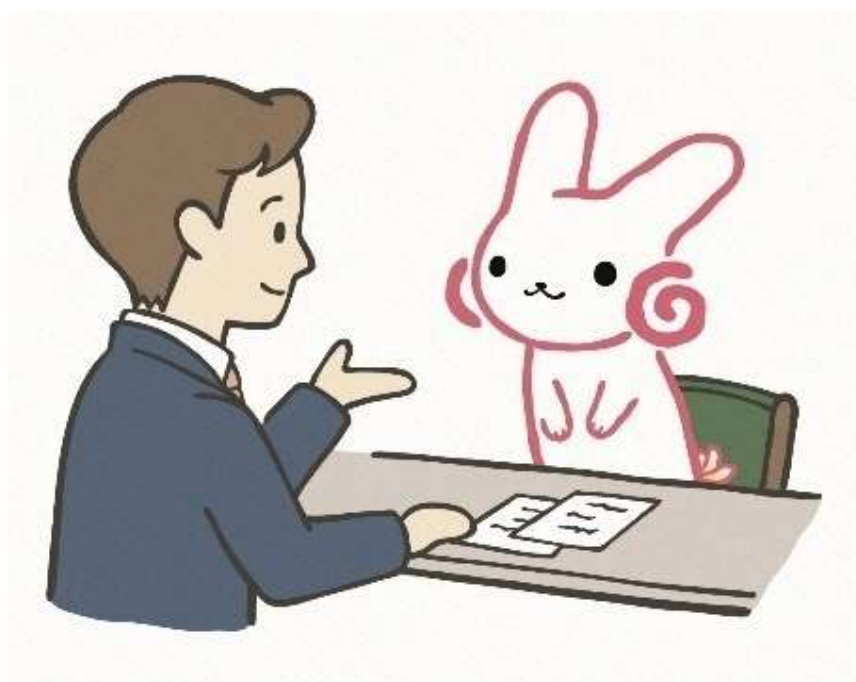


2026年6月

定時制・通信制高校等合同学校相談会

～参加校・団体紹介～



立川市

国立市・国分寺市・昭島市

目次

1	はじめに	1
2	各種学校について	2
3	奨学金等経済的支援について	5
4	定時制・通信制等合同学校相談会 参加学校・団体紹介	
	①あずさ第一高等学校 立川キャンパス	8
	②鹿島学園高等学校 立川連携キャンパス	10
	③おおぞら高校 立川キャンパス	12
	④星槎国際高等学校 立川学習センター	14
	⑤第一学院高等学校 立川キャンパス	16
	⑥一ツ葉高等学校 立川キャンパス	18
	⑦NHK 学園高等学校 東京本校	20
	⑧GRES 高等学院	22
	⑨ヒューマンキャンパス高等学校 立川学習センター	24
	⑩学研WILL学園 立川キャンパス	26
	⑪ID 学園高等学校 立川キャンパス	28
	⑫クラーク記念国際高等学校 立川キャンパス	30
	⑬東京都立砂川高等学校 定時制課程	32
	⑭東京都立砂川高等学校 通信制課程	34
	⑮東京都立秋留台高等学校 エンカレッジスクール	36
	⑯東京都立青梅総合高等学校 定時制課程	38
	⑰東京都立五日市高等学校 全日制課程	40
	⑱東京都立五日市高等学校 定時制課程	42
	⑲東京西法務少年支援センター	44
	⑳社会福祉法人 立川市社会福祉協議会	45
	㉑認定 NPO 法人 育て上げネット	46
5	参加校高校生アンケート	47
6	立川市子ども・若者自立支援ネットワーク事業	53

はじめに

この冊子は、相談会に参加された方へ向けて本日の参加校や団体を紹介する目的で作成しました。就学の側面から『立川市子ども・若者自立支援ネットワーク』に参加している学校の特色をこの冊子にまとめます。中学校卒業や高校中退者、不登校などの課題を抱えている方、その他進路や学校選びにお困りの方などの進路選択の参考になればと考えております。

立川市や近隣の市町村には、全日制高校、定時制高校、通信制高校・サポート校など、さまざまな学校があります。自分に合う学校を見つける手がかりになるよう、そして、自分に合う学校が見つかるよう願っています。

この冊子には掲載しきれない奨学金や支援金などの制度もございます。今回、各学校が限られた枠組みの中で紹介文を作成しています。詳細に関しては各学校にお問い合わせください。

各種学校について

1 全日制高校

全国で最も数が多いのが全日制課程で、中学校と同様のイメージです。毎日朝から1日教育活動が行われます。授業は通常1日5～8時間程度です。修業年限（在学しなければならない期間）は学校教育法で定められ、3年間です。

- 都立秋留台高等学校（*エンカレッジスクール）
- 都立五日市高等学校

2 定時制高校

定時制高校には夜間定時制と昼夜間定時制の2つのタイプがあります。夜間定時制は全日制と併設されていることが多く、夕方（多くは17時以降）から授業が始まり、1日に4時間の授業を行います。修業年限は4年になりますが、通信制との併修などを活用して3年で卒業することも可能です。農業や工業、商業などの専門学科の学校もあります。

それに対して昼夜間定時制は多くの場合三部制となっています。部ごとに登校する時間が違っていますので、全日制と同じように8:30頃に登校する生徒もいれば、17:00頃に登校する生徒もいます。他部の授業も受けることができるので、校内での履修の工夫によって3年で卒業することが可能です。多摩地域では3校の昼夜間定時制高校があります（八王子拓真高校にはチャレンジ枠があります）。

- （夜間定時制）都立青梅総合高等学校
- （夜間定時制）都立五日市高等学校
- （昼夜間定時制）都立砂川高等学校

3 通信制高校

通信による教育を行う課程で、修業年限は3年以上と定められています。通信制は、個々に合ったペースで学習し、卒業資格を取得できるため、勤労者や不登校者、中退者、学業不振者に適しています。レポート（報告課題）、スクーリング（面接授業）、テストを通じて単位を取得していきます。学年制よりも単位制が多く、個人の進度で学習を進めていくことが可能なため、最短では3年、在籍期間を活用して10年以上かけて卒業する人もいます。

- 都立砂川高等学校
- 学校法人国際学園星槎国際高等学校
- ヒューマンキャンパス高等学校立川学習センター
- 一ツ葉高等学校立川キャンパス
- あずさ第一高等学校立川キャンパス
- 第一学院高等学校立川キャンパス
- NHK 学園高等学校
- ID 学園高等学校立川キャンパス
- クラーク記念国際高等学校立川キャンパス

4 サポート校

通信制高校に在籍する生徒に対して、早期（最短で3年）で卒業できるよう、単位取得、進級等に必要とされる支援を行う民間の教育施設のことです。通信制高校の生徒は自学自習となるので、途中で挫折してしまうケースや、卒業までに5年以上かかってしまうケースが目立ちます。そういった生徒を学習面、生活面、精神面でサポートします。

サポート校では、高校卒業資格取得のための単位の認定を行うために、提携する通信制高校へ同時に入学します。

- おおぞら高校立川キャンパス
- GRES 高等学院
- 鹿島学園高等学校立川連携キャンパス
- 学研 WILL 学園立川キャンパス

5 チャレンジスクール、エンカレッジスクール

《チャレンジスクール》

チャレンジスクールとは昼夜間3部制の定時制・単位制・総合学科の都立高校です。午前部・午後部・夜間部の3部に分かれており、働きながら勉強をする生徒や朝の起床に難のある生徒も通いやすい定時制になっています。

カリキュラムにボランティアによる単位があることや、総合学科ならではの選択科目内に専門科目が多くあることが特徴です。不登校（または内申が低い）で勉強が苦手な生徒には向いていると言えます。

《エンカレッジスクール》

エンカレッジスクールとは、高校入学後、中学校まででつまづいた所をもう一度学びなおしたいと考えている生徒を励まし、応援する学校です。指導目的を「社会生活を送る上で必要な基礎的・基本的学力を身につけること」としています。

生徒一人一人にきめ細かい指導を行うため、二人担任制を導入しており、少人数制・習熟度別・少人数制により基礎的・基本的学力を身につけさせることに重点を置いています。

また、試験の点数だけでなく、日常の取組や努力を評価することも特色です。中学校に通えているが、勉強することに苦手意識が強い生徒には向いていると言えます。

- 都立秋留台高等学校

※高等学校卒業程度認定試験（高認試験）

高校卒業程度の学力を認定するための文部科学省の認定試験です。合格者は高校卒業者と同等以上の学力があると認められます。大学、短大、専門学校の受験が認められるだけでなく、就職や資格試験などにおいても、高校卒業と同等として扱われることがあります。受験できる方は、当該年度に満16歳以上になる方で、大学入学資格を持っていない方になります。高認試験に合格しても、最終学歴は「中学卒業」です。

＜学年制と単位制＞

・学年制

各学年での教育課程の修了を繰り返すことによって学習していく方式です。学年ごとに学ぶ内容が決まっているので、それを修得すると次の学年に進級できます。

・単位制

授業科目を単位と呼ばれる学習時間数に区分して修得していく方式です。学習する教科・科目を一定の決まりの中で選んで時間割を作成します。進路や個人の興味・関心に合わせて科目を選択できるというメリットがあります。

奨学金等経済的支援について

高校に入ると様々なお金がかかりますが、高校生を対象にした奨学金も充実してきています。返還の必要がない給付型も多くあります。ここでは、奨学金の中でも代表的な以下の3つものについてご紹介いたします。これ以外にも、様々な奨学金がございますので、詳しくは各校にお問い合わせください。

- ①高等学校等就学支援金【新制度】（給付型）
- ②高校生等奨学給付金（給付型）
- ③受験生チャレンジ支援貸付事業（貸付型）※手続きを行うと返済免除



①高等学校等就学支援金【新制度】（給付型）

<概要>

高等学校等の授業料支援制度の改正により、所得制限が撤廃され、多くの方が授業料の支援を受けることができるようになりました。

<対象>

- ・高等学校等（外国人学校を除く）※に在学し、日本国内に住所を有する者のうち日本国籍を有する生徒等
- ・高等学校等（外国人学校を除く）※に在学し、日本国内に住所を有する者のうち日本国籍以外の方で、以下の在留資格等を有する生徒等（①特別永住者、②永住者、③日本人の配偶者等、④永住者の配偶者等、⑤定住者のうち将来永住する意思があると認められた者、⑥家族滞在のうち日本の小学校及び中学校を卒業した者であって、高校等卒業後、日本で就労して定着する意思があると認められた者）

<支給額の例（支給上限年額）>

- 国立高校（全日制等）：11万5200円
- 私立高校（全日制等）：45万7200円
- 公立高校（全日制等）：11万8800円
- 私立高校（通信制）：33万7200円

②高校生等奨学給付金（給付型）

<概要>

教科書費、教材費など、授業料以外の教育費を支援する返還不要の給付金です

<対象>

- ・生活保護世帯
- ・住民税所得割が非課税の世帯
- ・年収270万円以上380万円未満の世帯（拡充）
- ・年収380万円以上490万円未満の世帯（拡充）

※生徒の国籍等によって世帯の範囲が異なります。

<給付額（年額）の一例>

- 生活保護受給世帯（全日制等・通信制）：32,300円（国公立）、52,600円（私立）
- 非課税世帯（全日制等）：143,700円（国公立）、152,000円（私立）
- 非課税世帯（通信制）：50,500円（国公立）、52,100円（私立）

③受験生チャレンジ支援貸付事業（貸付型）

<概要>

将来の自立に向けて意欲的に取り組む子どもたちが高校や大学への進学を目指し、受験に挑戦することを支援する東京都の補助を受けて東京都社会福祉協議会が実施する事業です。学習塾等受講料・受験料を無利子貸付で応援。入学した場合、返済が免除されます。

<対象>

中学3年生・高校3年生、または進学を目指す方（高校中途退学者、高等学校卒業程度認定試験合格者、定時制高校4年生、浪人生等）のいる一定所得以下の世帯

<金額>

学習塾等受講料：30万円（上限）

高等学校等の受験料：2万7400円（上限）

大学等の受験料（高校3年生又はこれに準じる方）：12万円(上限)

※ご不明点は専用WEBサイト「東京都社会福祉協議会 受験生チャレンジ支援貸付事業サイト」より最寄りの社会福祉協議会へお問い合わせください



応援キャラクター
「チャレニヤン」

定時制・通信制高校等合同学校相談会
参加学校・団体紹介



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

あずさ第一高等学校立川キャンパスには5月1日現在、359名の生徒が在籍しています。

<どんな生徒が多い？>

在籍している生徒の中には、小学校・中学校の学習が苦手だった生徒、今まで思うように登校できなかった生徒、学習スタイルやオリジナルコースに魅力を感じて入学を決めた生徒など、さまざまな目的をもって登校しています。日々の授業や行事をともに過ごしており、生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあえる雰囲気があります。

2. 学校の特徴は何ですか？

学校法人が運営する登校型の学習スタイルを中心とした通信制課程の高等学校です。教員免許をもった教員が授業を担当し、生活指導や生徒指導も丁寧におこなっています。学校生活の中には普通科目の授業はもちろん、午後に開講される音楽コースやファッションコース、声優・アニメコースといったその分野のプロが教える多彩なオリジナルコースにも力を注いでいます。さらに通信制課程の高等学校で必須のスクーリングは同じ学校法人の施設(中央線沿線)で実施するので宿泊を伴わず、通いながら出席することが可能です。「自分らしく、自由に。自分らしく、明るく。好きなことに、一生懸命。」をモットーとした学校です。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

・スタンダードスタイル5日制、スタンダードスタイル3日制+one

→時間割に沿って授業を受けることができる

・フリーツーデスタイル2日制、フリーワンデスタイル1日、一般通信制スタイル

→自分の生活スタイルや状況に合わせてキャンパスで自学自習ができる

どのスタイルでも、年間で決められたレポート(課題)の提出、スクーリングへの出席、前後期考査をそれぞれクリアすることで、単位の修得ができ、標準的なカリキュラムでは卒業までに必要な単位数は3年間で修得できるように組まれています。また、各学習スタイルの日数は必ず登校しなければならない日数ではなく、キャンパスに登校し、学習できる機会・権利がある日数になります。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力面>

スタンダードスタイルの授業では高等学校の課題に取り組む中で、中学時代の復習を加味して行っています。休み時間や放課後の時間、フリー学習の時間など、気軽に教員に聞きながら学習できる環境があります。また午後の基礎・大学進学コースを受講することにより、更なる学習の機会を増やすことも可能です。

<メンタル>

今年度は週5日スクールカウンセラー(SC)を配置し、対人関係、生活での相談や心のケアなど、さまざまな問題に対応できる環境になっています。また、各クラスに担任がいるので、きめ細かなフォローができる環境にあります。経験豊かな教員からフレッシュな教員までバランスのよい配置になっているので、生徒は自分に合った教員に相談をすることができます。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

学校行事は、全キャンパスの新生が一堂に集う入学式や沖縄への修学旅行があります。キャンパスごとに行うものとしてディズニーランドやディズニーシーへの校外学習、理科や英語などの教科に関連した校外授業などを実施しています。秋の文化祭では実行委員会を中心に運営し、団体ごとに企画した模擬店などを中心に多くの来校者を迎え入れています。これらの行事は仲間との関係づくりやさまざまな経験を積むことのできる機会になるため、参加を呼びかけますが、行事への参加は任意です。

部活動は、現在、軽音楽部、コスプレ部、ダンス部が活動しています。その他部活動についても現在設立準備中です。文化祭や卒業ライブといった発表の場もあります。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

大学：15%、専門学校：55%、就職：35%、その他：5%

<進路のサポート>

1年次より進路ガイダンス（年2回）をキャンパスで開催し、近隣の大学や専門学校の先生方から具体的な学校の内容に関する話を聞ける機会を作っています。さらに3年次生になると、求人票の見方や履歴書、願書などの書き方から自己PR文の作成、面接の練習まで、キャンパスの教職員全員が連動して全体での学習と個別対応を組み合わせて指導しています。その結果、約6割の生徒が大学や専門学校への進学を志望し、4割の生徒が就職を選ぶという結果を残しています。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<入学時にかかる費用>

あずさ第一高等学校では入学金をいたしません。従って下記の学費×3が3年間の学費の目安となります。

<年間授業料>

- ・スタンダードスタイル5日制の場合 ⇒ 年額 774,000 円
- ・一般通信制スタイルの場合 ⇒ 年額 240,000 円
- ・その他の費用としては教科書・教材費、標準服や行事参加の費用があります。

※高等学校等就学支援金制度の対象となっているため、上記金額より減額されます。

※各学習スタイルにより異なるので詳細はお問い合わせください。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

前期選抜入試の試験日当日は面接のみで、後期選抜入試は作文と面接となります。

<説明会・見学会>

土曜日を中心に相談会や説明会を実施していますが、平日でも個別の対応や授業見学を行っております。来校の予約につきましてはホームページや電話にて受け付けております。さらに様々な授業の体験も実施しております。

<転学・編入について>

現在、一部の年次・スタイルの募集をしております。詳細はお電話にてお問い合わせください。

所在地	東京都立川市柴崎町3-8-14	電話番号	042-595-9915
アクセス	JR立川駅南口徒歩3分 多摩モノレール立川南駅より徒歩1分	FAX	042-595-9335
		メール アドレス	request-azt@noda-kamada.ac.jp



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

約40人

<どんな生徒が多い？>

中学生の時から不登校で最初から通信制の高校を希望してくる生徒もいますし、入学した学校が合わなくて転校してくる生徒もいます。通信制を選んだ理由はいろいろですが、ここで高校を卒業しようと決心して自分で決めたという点ではみな同じです。

2. 学校の特色は何ですか？

生徒たちはごくふつうの高校生です。中には勉強につまずきのある生徒もいますが、小規模のキャンパスなので、十分にコミュニケーションをとりながら個別指導に近いかたちで課題に取り組んでいます。おだやかでなごやかな雰囲気の学校です。特別活動として、球技大会や映画鑑賞会、地域のおまつりの手伝いなどを行っています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

月水金が通信制の日となっていて、週に3回通う人もいれば、週2回、週1回通う人、あるいは自宅でやったレポートをタブレット端末から提出して、わからないところを時々教わりに来る人もいます。月水金以外の日も開いてはいますから、自習するために来ることできます。自宅で一人で勉強するのはやはりむずかしいことが多いので、ある程度日を決めて通ったほうが課題が予定通りに進むと思います。スクーリングは年間10日ほど、東京都内で行われます。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

小規模キャンパスの利点を生かして個別対応ができるので、勉強についてこれないということはありません。

<メンタル>

メンタルな面で困難をもつ生徒もいますが、さまざまなケースがあるのでスタッフもそれについて勉強したり相談したりしながら応援しています。高校生という時期は長い人生の中の短い一時期にすぎませんが、大切な時期でもあります。生徒との対話を大切にしながら、一人一人が自分に自信を持って、次のステップに歩み出しているようにと考えています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

入学式、卒業式、体育祭、文化祭、修学旅行、スキー・スノボ実習などがありますが、自由参加です。行事に参加するとスクーリングや特別活動に相当することもあります。ただ、行事の会場が立川からは遠いので、球技大会、映画鑑賞など立川キャンパス独自のイベントをだんだん増やして、生徒同士の交流もできるようにしたいと考えています。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

大学：31%、短大：6%、専門学校：13%、就職：6%、その他：44%

大学や専門学校に進学する人もいますし、就職したりアルバイトをしている人もいます。年度によっていろいろですが、進学する人がやや多いようです。

<進路のサポート>

卒業するだけで精一杯、その先のことは考えられないという人もいますが、卒業してからも進学や就職の相談にのっています。卒業年度には進路希望のアンケートをもとに話し合いを重ねて、目標に向けてがんばれるように応援しています。面接や小論文、エントリーシートや履歴書の書き方も指導します。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<p><入学時にかかる費用></p> <p>入学時納入金：73,252 円</p> <p>(入学金：0 円、施設費：24,000 円、システム管理費：49,000 円、災害共済 252 円)</p> <p>単位料：1 単位 12,000 円 就学支援金利用で 1 単位 7,188 円、25 単位で 179,700 円 (ただし、就学支援金を利用すると、ほとんどの場合さらに東京都の制度によって翌年に単位料の自己負担分が戻ってきます。)</p> <p>3 年間 74 単位履修で合計 531,912 円 (実質的に単位料の自己負担分なしで 219,756 円)</p> <p><キャンパス費></p> <p>入学時のみ教務管理費 40,000 円、通信費 1 年間 30,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週 3 日コース：年間 340,000 円 ・週 2 日コース：年間 320,000 円 ・週 1 日コース：年間 300,000 円 ・自宅学習コース：年間 300,000 円

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<p><入学試験の時期・方法></p> <p>願書と必要な書類 (前籍校で記入してもらいます) を鹿島学園の本校に郵送していただければ、立川キャンパスに連絡が来て、立川で面接をします。高校卒業に向けたあなたのプログラムを相談しましょう。前月の 25 日までに願書を茨城県の本校にお送りください。新入生は、4 月入学は 12 月 1 日から 4 月 10 日、10 月入学は 8 月 1 日から 9 月 25 日まで願書を受け付けています。(2026 年度)</p> <p><説明会・見学会></p> <p>ぜひ一度学校見学に来てください。</p> <p><転学・編入について></p> <p>毎月可能です。前月 25 日までに通信制本部に願書をお送りください。</p>
--

所在地	東京都立川市柴崎町 3-10-4	電話番号	042-524-9864
アクセス	JR 立川駅南口より徒歩 3 分	FAX	042-524-9864
	多摩モノレール立川南駅より徒歩 1 分	メールアドレス	kashima.tachikawa@gmail.com

● おおぞら高校 立川キャンパス (サポート校)



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

立川キャンパスには約 350 名ほどの生徒が在籍しています。

生徒たちは広域通信制高校の「屋久島おおぞら高等学校」にも同時に在籍をしていますので、高等学校卒業資格が取れる環境になっています。

<どんな生徒が多い？>

近年は他の高校から転入学してくる生徒よりも中学校からの新入学生が増えてきています。おおぞら高校を進路先として選んだ生徒は「大学や専門学校の進学を考えている」「自分のやりたいことを見つけたい」「自分にあった通学スタイルで通いたい」といった理由が多く、それぞれの生徒が目標の実現に向けて頑張っています。

2. 学校の特色は何ですか？

「なりたい大人になるための学校®」として、好きを増やして、好きをつなげて、好きをカタチにする。

専門コース：プログラミングコース、マンガイラストコース、子ども・福祉コース、住環境デザインコースがあり、自分の得意や好きを専門的に深めることができます。また大学進学のために学力を高める進学コースがあります。

海外体験：グローバル教育に力を入れています。国や期間を選べる留学プログラムへの参加を通して多様性を理解できる人材の育成を目指しています。

マイコーチ®：勉強はもちろん友人関係や進路など、日ごろかわる担任（コーチ）を生徒自身で選択できます。みらいの架け橋レッスン®：多くの体験型選択授業があります。eスポーツ、ヘアメイク、声優、トリマー、イラスト、ギター、パソコン検定他、資格取得などにも挑戦できます。様々な体験の中から新しい自分を発見できます。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

キャンパスでも、ご自宅でオンラインでも、双方向のライブ授業となっていますから、日々生徒が自分で登校するのかわからないかを選択できます。

午前中から週1日～5日登校できる「基礎コース」と午後から週1日～5日登校できる「個別指導コース」があり自分のペースで登校することができます。個別指導コースは午後から少人数で学ぶことができるので「大人数が苦手」「起立性調節障がい朝起きるのが苦手」「勉強が苦手で自分のペースで進めたい」などの生徒に向いています。毎日登校する生徒、週2～3日で通う生徒、生徒はみな自分のペースで登校して、それぞれのスタイルで学校生活を楽しんでいます。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力について>

毎日の授業では教科の内容理解と課題レポートの作成をしっかり行います。オリジナル教材を用い基礎から学び直しもできますので、中学時に通っていない等、学力に心配のある方もご安心です。

大学受験等、進学を目指す生徒には、進学コースがあります。また英検など各種資格の取得にも力を注いでいます。

<メンタル>

職員一人一人がメンタルサポート研修を受講しておりマイコーチ（担任）を中心にサポートしています。より時間をかけてカウンセリングを受けたい場合には、曜日は限定ですが校内でカウンセラーにかかることも可能です。保護者の方ともこまめに連絡を取り合い生徒の成長を共に見守っています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

本校ではオリジナルの留学プログラムがあります。昨年度はカナダやフィリピン、アメリカに留学した生徒もいます。その他に文化祭・遠足などのスクールイベントが定期的にあります。多くの生徒がこうした行事を通じて充実した高校生活を送っています。部活動はありませんが、先の「みらいの架け橋レッスン®」の時間が継続的に参加していけばサークル活動のような環境になってきます。部活動という形で縛らない、出るのも出ないのも自由、というのがおおぞら高校の特徴だと思います。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

進学：70%、就職：20%、その他(留学含む)：10%

昨年度までの進学実績として、大学：早稲田大学、立教大学、明治大学、日本大学、桜美林大学、亜細亜大学など、各種専門学校：日本工学院など。また希望者は、おおぞらカレッジという近畿大学短期大学部と提携した進学先や、協力企業による就職サポートも利用することができます。

<進路のサポート>

「社会の架け橋プログラム®」というキャリア教育プログラムを行っています。おおぞら高校の学校生活を通して、「なりたい大人になるため」に様々な魅力ある大人と出会って、自身の知見を広げていきます。可能性は無限大です。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<入学時にかかる費用>

合計：14万円(入学金50,000円、施設管理費：90,000円)

<年間授業料>

・基礎コース 月曜日～金曜日の登校 年間396,000円

・単位履修：1単位あたり15,000円(1年次登録単位24単位 360,000円)

就学支援金(1単位あたり13,668円)はこの単位履修の金額から先引きします。

その他進学コース、個別指導コース、専門コース費用、スクーリング代について詳細はお問い合わせください。

※教科書代教材費は学校負担、通学定期が購入いただけます。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

入試：1期入学選考7～8月、2期入学選考9～10月、一般入学選考11月

※1期、2期合格者、入学金減免制度あり

作文の提出、プレイスメントチェック、親子面接を行い、総合的な考査にて判定を致します。

<個別相談>

平日、土日祝日、ほぼ毎日実施しております。詳しくはホームページにてご確認ください。平日のご来校であれば生徒の様子もご覧いただけます。選択肢の1つとして気軽にお問い合わせください。

<転学・編入について>

毎月受け入れを行っています。詳しくは上記「個別相談」にて詳しい内容をご確認ください。

※転編入は決めてから見学をするのではなく、可能性が出た段階で見学を始めてください。高校は義務教育ではありませんから、その方によって様々なケースが生まれます。後で『もう少し早く動いておけばよかった』とならないように、お気を付けください。

所在地	東京都立川市曙町1-14-14 コアビル1F	電話番号	042-529-5560
アクセス	JR立川駅北口より徒歩3分	FAX	042-529-5567
		メール アドレス	tachikawa-office@ktc-school.com



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

立川と八王子に校舎があり、両校舎で約 600 名の高校生が学んでいます。

<どんな生徒が多い？>

立川に入学しても、八王子に入学しても、入学してからはお互いの校舎の授業を選択することができ、一週間の中で校舎を行き来しながら学んでいる人もいます。加えて、フリースクールの小学生から、専攻科、そして星槎大学の大学生まで、年齢・学年関係なく関わり合い、学び合う、多様性あふれる学び舎です。

本校には、生徒も、大人も、星槎に関わる人全員が守る、「人を認める・人を排除しない・仲間を作る」の3つの約束があります。本校はある特定のタイプの子が集まっているわけではなく、入学背景も、能力も、個性も、やりたいことも、多様な子がお互いを認め、理解し、ともに学んでいる環境がここにはあります。

2. 学校の特色は何ですか？

「子どもが学校に合わせるのではなく、学校が子どもに合わせていく」ことを大切にしています。「これに努めなさい」「この道を歩みなさい」などの押し付けではなく、子ども個々の今を見つめて、新しい授業を作ったり、行事への参加を提案したり、安心して通える空間を創っています。

本校は、学習系、資格対策、体験学習、IT、芸術、生活スキル、スポーツ、音楽、料理など、10 カテゴリー、110 種類のゼミ授業の中から自分だけの時間割を作り、成功体験を積み重ね自信を育み、関わり合いの中で社会で生きる力を育てる場所です。オリンピック出場選手や海外ミュージシャン、ドローンパイロットなど色んな生徒の個性が混じっています。また、30 種類の部活動・同好会で学年を超えてとことん熱中し、全国大会出場を果たす子もいます。

文部科学省の「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」を基準とし、NPO 法人全国通信制高等学校評価機構により、星槎国際高等学校は、教育活動及び施設・設備等の学校評価基準において全ての適合が認められています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

基本的な登校日数は週5日～週3日で、平均すると現在週4日通っている子が多いです。ただ、これにこだわらず、最初は週1日から、あるいは放課後だけ、などからスタートし、ゆくゆくは、その先の進路のために、週3日でも仲間と共に学ぶ楽しさをそれぞれのペースで全員経験していきます。

そのほか、オンラインコースなども含め、あなたの状況に寄り添いながら、柔軟に高校生活を創っていきます。個々のステップに合わせて対応していますので、オンラインがきっかけで3年ぶりに学校という空間に来れるようになる生徒や気候や時期的な体調不良にも対応しています。

星槎の校舎は、立川、八王子も含め一つひとつがスクーリング施設（高校に準ずる施設）として文部科学省に認可されており、基本はスクーリング等で遠隔地に行く必要がありません（修学旅行など、宿泊行事も参加可能です）。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

"学びなおし"の授業の個別指導の授業があり、自分のできる分野と苦手な分野を行ったり来たりしながらの学びなおしをサポートしています。

【不登校対応】市区町村の不登校対策委員を受け持っている職員が複数名います。

【子どもの発達に関する対応】今年度より公立高校の通級指導の委託事業を受けています。

<メンタル>

星槎の教員は、「支援教育カウンセラー」の資格を全員が取得しています。また星槎国際立川には「公認心理師」「臨床心理士」「臨床発達心理士」などの資格をもった先生がいます。また、星槎には心理検査やアセスメント、療育などを行う「NPO 法人星槎教育研究所」「星槎大学」があり、連携・連動しながら専門的かつ総合的なサポートを行っています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

行事は年間で約 150 種類あります。夏休み期間中に開催される、宿泊から日帰りまで、普段できない経験にチャレンジする「夏企画」や、北海道研修旅行、修学旅行、スキー実習、サイパン海外研修旅行など将来につながるキッカケを探すための場をたくさん創っています。

星槎国際立川には約 30 種類の部活動・同好会があります。東京都の高体連にも所属しており、野球部、サッカー部、陸上競技部などは全国大会に出場経験もある、実績のある部活もあります。また、文化系の部活動も創作部（アート・イラスト）、マインクラフト部、鉄道研究部、スプラトゥーン部などがあり、登校のキッカケ、仲間づくりのキッカケとして、数々の生徒の成長を促し、居場所の一つになっています。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路のサポート>

「三年間まるごと進路面談」初めての面談の時から、進路指導は始まっています。昨年度は 94% で残り 6% も継続指導中、進路決定 100% を卒業してからも目指している学校です。大学進学を全国の仲間と共に目指す、感動と楽しさがつまった受験対策授業「受験対策ゼミ」や、就職を目指す人への、校外インターンシップの実施など、さまざまな提案をしています。

高校在籍中だけでなく、一生涯かけて付き合っていく、それが星槎のスタイルです。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<入学時にかかる費用>

合計：100,000 円（入学金：50,000 円、施設整備費：50,000 円）

<年間授業料>

[平日登校コース]

・週 5 日登校：1,050,000 円 ・週 4 日登校：870,000 円 ・週 3 日登校：690,000 円

[選択登校コース]

・690,000 円

[クラウドコース]

・536,000 円

※支援金制度があり対象者の方は減額されます。別途ご相談ください。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

個別相談会（1～3回）／体験入学等（1～3回） → 内定判断の面接 → 入試

<説明会・見学会>

願書などをすぐお渡しするのではなく、まずは、個別相談、体験入学など、丁寧にステップを重ねて、入学してからの課題の共有、通い方や学び方などをじっくり三者でお話をしていくことを大切にしています。まずは、生の様子を見にきてください。

<転学・編入について>

入学時期により卒業時期が変わる場合もありますので、お早めにご相談ください。

所在地	東京都立川市錦町 6-9-5	電話番号	042-521-3699
アクセス	JR立川駅南口より徒歩 15分	FAX	042-521-3709
	JR南武線西国立駅より徒歩 10分 多摩モノレール柴崎体育館駅より徒歩 10分	メール アドレス	tachikawa@seisa.ed.jp



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

2024 年度末時点では、全国に 10,000 人超の生徒が在籍しておりました。立川キャンパスの生徒数は 2025 年度初め時点で約 240 名です。

<どんな生徒が多い？>

不登校経験者、勉強が苦手な生徒ももちろんいますが、自分の夢の実現のために、あえて全日制高校を選択しなかった生徒など様々なタイプの生徒がいます。入学時は自分に自信のなかった生徒も多くいます。第一学院高校独自の「成長実感型教育」と「プラスサイクル指導」により意欲喚起を行い、本来持っていた生徒自身の良いところを取り戻してほしいですし、さらに良いところをみつけてほしいと考えながら日々接しています。最初は卒業後の希望がなかった生徒も最終的にはほとんどの生徒が進路を決定し、次の道に進んでいます。

2. 学校の特色は何ですか？

「1/1の教育」生徒一人ひとりと向き合い、その幸福を願って、一人ひとりの生徒を育てることが私たちの教育理念です。生徒との対話の時間を大切にしており、相談しやすい環境が整っています。担任や学年制を取らず、全員担任制のもと、複数の職員が生徒一人ひとりに寄り添っています。

教科指導に留まらず、以下の3つの取り組みで「生徒の成長」を促進していきます。

◎ 独自の『プラスサイクル指導』・・・生徒をプラス思考にする独自の意欲喚起教育です。最新の脳科学の研究成果を取り入れ、自信を取り戻し、将来へ前向きに取り組む感性を養います。

◎ 『成長実感型教育』・・・ONE（自分自身）＋「・・・」（好奇心・価値観・学力・特性など）を高めたり、磨いたりしながら、自分の成長を楽しみます。「デジタル自分未来史ファイル」で自分の成長を可視化していきます。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

・スタンダードコース：週5日、毎日の登校も可能ですし、自宅でオンラインでの学習も可能です。

・プレミアムコース：スタンダードコースに進路実現に向けた様々なコンテンツが追加されたもの。

特別進学専攻・グローバル専攻・セルフプロデュース専攻・社会人基礎力専攻・デジタルコミュニケーション専攻など。

・Mobile high school（オンライン／自宅通信）コース：自宅学習中心。

Mobile high school コース以外の生徒さんは、先生達と相談しながら自分の時間割を作成します。月曜から金曜まで毎日登校したい生徒は週5日間登校できます。気持ちが安定しない、体調不良でも大丈夫です。自分のペースで過ごすことができるので、毎日の登校に自信がない人は週に1～2日の登校も選択が可能です。自宅でオンラインでも学べます。先生と相談しながら、「最初は登校日数を少なめにして、慣れてきたら少しずつ日数を増やす」という対応もしております。

【スクーリング・テスト】すべてのコースに共通して、1年間に2回程度（合せて一週間程度）高萩本校にてスクーリング・テストがあります。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

小・中学校レベルの復習から高校の内容、また難関大学の受験レベルまで対応できる学習システムがあります。いきなり高校レベルの勉強をするのが心配な方もご安心ください。体調不良や不登校などで未学習箇所があり心配される方も、復習中心授業等で十分なサポート体制を取ることができます。

<メンタル>

日本臨床心理士協会のスクールカウンセラーが来校しています。生徒だけでなく保護者の方もお気軽にご相談ください。外部の医療機関・相談機関とも連携を図っています。卒業生(保護者も含む)の専用相談窓口も設置しておりますので、フォローは万全です。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

・学校行事は、文化祭（輝翔祭）・夏祭り・ゲーム大会・BBQレク・ディズニーレク・スポーツレク・ボーリングレク・成長実感発表会・DAIICHI CUP（フットサル大会）・文化系 DAIICHI CUP（オンライン文化祭）など
 ・留学（アメリカ短期留学・フィリピン短期留学）
 ・サークル活動【運動系】フットサル(第一学院内での大会あり)・バスケット・バドミントン・ダンスなど
 【文化系】アート(イラスト)・カメラ・ゲーム・軽音楽・サブカルなど
 ・ボランティア活動（ピアサポーター・地域清掃（ロードサポーター）・保育園・福祉事業所など）

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

大学：62.7%、専門学校：26.3%、就職：5.5%、その他：5.5%（浪人） ※2023年度実績

<進路のサポート>

進路定着を重視し、さらに、25歳での社会自立を指標としております。在学中の指導と卒業後のフォロー「キャリアサポートセンター」や卒業生ネットワーク「チームD1」による継続したサポートを行います。

全国50校以上あるので日本全国様々な学校の指定校推薦があります。大学入試は様々な受験方法に対応。早慶上智レベルへ進学する生徒もいます。市進予備校と連携し、効率良く学力アップできます。

また、就職希望の生徒にはサポートステーションやハローワークとの連携で、しっかりフォローします。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<入学時にかかる費用>

合計：10,000円（入学金：10,000円）

<年間授業料>

- ・スタンダードコース：1,060,300円／年間
- ・プレミアムコース：1,231,900円／年間
- ・Mobile high school（自宅通信）コース：365,300円／年間

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

9月から自己推薦入試（単願）の出願開始。1月から一般入試（併願可）の出願が開始。試験内容は作文と保護者同伴の面接試験です。学力試験は行いません。

<説明会・見学会>

学校説明会・オープンキャンパスにご参加下さい。（HPをご覧ください）随時個別相談会も行っています。

<転学・編入について>

転校をお考えの方は一人ひとり事情が違いますので、是非個別相談にご来校下さい。

入学選考に必要な提出書類は①在籍している(していた)学校の書類②作文です。試験形式は面接試験となります。本人+保護者の方と20分程度の三者面談形式です。（学科試験はありません）

所在地	東京都立川市柴崎町2-3-13	電話番号	042-526-0292
アクセス	JR立川駅南口より徒歩3分	FAX	042-526-0293
	多摩モノレール立川南駅より徒歩1分	メール アドレス	tachikawa@daiichigakuin.ed.jp



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

立川キャンパスの生徒は今現在、約90名です。登校する人数は1日あたり30名前後です。

<どんな生徒が多い？>

生徒層としては穏やかな生徒が多いです。勉強が苦手な生徒から「大学進学」を目指す生徒まで、様々な生徒をサポートしています。月1日コースから週5日通うコースまで随時コース変更ができるため、起立性調節障害や過敏性腸症候群などの生徒たちも、体調と相談しながら自分に合ったコースで学習し無理なく卒業を目指しています。また、プロスポーツや芸能活動など自分の夢を叶えるために一ツ葉高校を選ぶ生徒もいます。コース間、学年間の壁はなく、転学生もすぐにキャンパス生活に慣れていきます。

2. 学校の特色は何ですか？

●キャンパスライフ

【穏やかな校風】落ち着いた生徒が多く、静かな環境で進路に向けて勉強できます。

【イベントの充実】BBQやボードゲームなど毎月楽しいイベントを実施。すぐにキャンパスに馴染めます。

【雰囲気】教室は壁の低いオープンスペース形式。職員スペースも壁がなく気軽に質問できます。

●進路・学習

【卒業サポート】卒業率は99%。「レポート授業」で、勉強が苦手な生徒も取りこぼしません。

【一般選抜対策】対面の「進学授業」やオンライン教材で、一般選抜にも対応可能な実力を養成します。

国公立大学、有名私立大学への合格実績もあります。

【総合型選抜対策】面接・小論文講座、英検をはじめとした各種資格対策、ボランティア活動の幹旋、ボードゲーム部での大会参加などで、総合型選抜にも対応できる実力と実績を養成します。

【学びなおし講座】中学内容の勉強をしっかりと身に着けたいという方を対象に、英語や数学など主要教科の学びなおし講座を実施しています。これらの講座は中等部の方の参加も可能です。

【ソーシャルスキル科目】一ツ葉高校が開発した、注目の科目です。相手からいい印象を持ってもらえる行動、対人関係のコツなどを学ぶ科目で、単位認定もしています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

【スクーリング(必須)】熊本県の山都町(国宝の通潤橋があります)で宿泊型の集中スクーリングを行います。発熱などの場合でも、他キャンパスの日程に参加できるので安心です。

【キャンパスへの通学について(任意)】どのコースでも、キャンパスへの登校は必須ではありません。卒業と基礎学力定着を目指す一般コースでは、自宅学習中心の月1日通学プランだけでなく、週1日、週2日通えるプラン、週5日通えるプランまでご用意しています。大学進学コースでは、週5日の登校に加え、対面での受験対策授業を受けることができます。通えるコースについては、体調がすぐれないときはオンラインでの授業視聴も可能です。生徒一人ひとりの状況に応じて、登校ペースを保護者とも相談して決めていきます。午前や夕方のみなどの登校でも大丈夫です。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>中学内容からの「学びなおし講座」を実施。不登校期間が長くても安心です。また、毎月のレポート課題を終わらせるための「レポート授業」も実施しているため、単位取得が不安な方も大丈夫！ 進学コースの授業も細かくレベル分けがされており、自分のレベルに合わせて学習できるため、一步一步着実に学力を積み上げることができます。成績向上だけでなく、自分に自信がつくようにサポートしています。

<メンタル>契約しているカウンセラーとオンライン面談を実施できます(予約制)。また、学校設置科目「ソーシャルスキル」では、ストレスとの付き合い方や、人付き合いの方法を技術として教えています。教員は生徒との距離が近く、話し相手や相談相手になったり、入学時は他の生徒との間に入ってきっかけづくりをしたりするなど、人間関係をサポートしています。教員全員で適宜情報共有を行っています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

【イベント（任意）】スポッチャ・ディズニー・遊園地・その他調理イベント・スポーツイベント・ゲーム大会。キャンパス合同での体育祭・音楽祭。七夕・クリスマスパーティ・ハロウィンパーティなどの季節のイベント。
※中学生や見学希望者が参加できるイベントもありますのでお問い合わせください！

【サークル活動（任意）】ボードゲーム、手芸、剣道などのサークル活動があります。昼休みや放課後で楽しくゆめく実施しています。特にボードゲームでは東京都高文連のボードゲーム大会に毎年参加して成績を残しています。都大会に参加できるボードゲームサークルは、2026年現在、通信制高校では一ツ葉高校だけです。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>大学や専門学校も含めて、概算で進学が70%、浪人が20%、就職が10%です。
<進路のサポート>総合型選抜だけでなく、学力一般入試にも対応しています。対面の進学授業やオンライン教材を用いて、予備校のように共通テストや私大一般入試の対策を実施。国公立大学、有名私大など幅広く合格実績があります。もちろん、専門学校や就職を志望する方にも複数回の面接練習の機会を提供。志望校の決定には本人の意向を重視し、三者面談で話し合っていきます。

【進路イベント】

- ・オンライン進路ガイダンス 年2回実施。専門学校や大学の先生から説明を直接聞けます。
- ・大学専門学校,就職フェア 多くの大学や企業が集まる合同相談会に参加します。

7. 卒業までにかかる金額はどれくらいですか？

【安心の費用設定】年度分一括振り込み（宿泊費も含む）。年度途中での追加費用は原則としてありません。

<入学時にかかる費用> 10万円（入学金：5万円 教育充実費：5万円）

<年間授業料>※就学支援金、都助成金の適用校です。

9000円×単位数（参考：1年次標準26単位）

<年間のキャンパス費用・施設設備費>

【月1日コース】7万円

【週1日コース】27万円

【週2日コース】33万円

【週5日コース】52万円

【大学進学コース(進学指導実施)】66万円

<スクーリング費用（航空券代、宿泊代、バス代込み）>

全コース：9万7千円


<年間合計金額概算>

（単位取得 航空券 教科書代などすべての合計概算、就学支援金適用無しの場合）

月1コース：55万円/週2コース：80万円/大学進学コース：115万円 など 詳しくはご相談ください

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

1. 学校説明会（オープンスクール、個別相談会）にご参加し、まずはLINEをご登録ください。
2. 説明会後の授業体験やイベント参加をお勧めしております。
3. 在籍校もしくは前籍校への相談をお願いします。
4. Web出願をお願いします。Web出願が難しい場合は紙願書もありますのでご相談ください。
5. レポート体験と入学面接を行い、合格すれば入学できます。日程はLINEにてご相談ください。高校卒業後の進路で活躍できるような指導を行いますので、一緒ががんばれる生徒は是非ご相談ください。

所在地	東京都立川市錦町3-6-6 中村LKビル3階	電話番号	042-512-9602
アクセス	JR立川駅南口より徒歩10分 JR南武線西国立駅より徒歩8分	FAX	042-512-9603
		メール アドレス	tachikawa@hitotsuba.ed.jp 

●NHK 学園高等学校 東京本校 (通信制)



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

東京本校には約1100名の生徒が在籍しています(4月末時点)

<どんな生徒が多い？>

おとなしい生徒が多いですが、運動会や学園祭などの行事の際にはにぎやかです。NHK 学園の効率的な学習を活用して登校の負担を減らし、「自分のやりたいことに時間を多く使いたい」「高校生活でいろんなことに取り組みたい」という生徒や心身の不調の中でも高校卒業をめざす生徒、不登校の経験がある生徒など、さまざまな生徒がいます。多くの生徒が「いい意味で他人に干渉しない居心地の良さがある」と言っています。

2. 学校の特徴は何ですか？

「NHK 高校講座」の視聴とオリジナルのネット学習サイトでいつでも、どこでも学べます。自宅で効果的な学習ができるため、スクーリングへの参加を最も少なく抑えることが可能な通信制高校です。海外からも年1回の帰国、5~6日間の登校で単位修得が可能です。

高等学校卒業にふさわしい基礎学力と未来を生き抜く力を身につけて、次の進路へつなげる教育を行います。単に「面倒見がいい」というのではなく、生徒を自立に導くための指導をしています。東京都認可の通信制高校として、グラウンドや体育館、特別教室、図書館など整った学校施設でスクーリングを行います。また、<学びの多様化学校(不登校特例校)>として不登校経験者向けの特別カリキュラムを設置しています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

●スタンダードコース ベーシック：月1~2回のスクーリング、もしくは7月と12月に行う連続3~4日の集中スクーリングに参加します(宿泊は伴いません)。

●スタンダードコース 登校プラス：月1~2回のベーシックのスクーリング参加に加え、週1~3日(水・木・金)の登校と活動内容を選べます。

<水曜>「キャリア&コミュニケーション」NHKグループで働く人達の話聞き、放送やモノづくりに関わるテーマや社会問題など多彩な話題に触れ、意見を交わし、考える機会を持つ「NHK リレー講座」や、異学年の生徒と関わるコミュニケーション活動によって社会で求められる力を養います。キャリア学習では1年次は多摩大学の学生の協力を得ながら仕事に就いて知り、2年次は企業を訪問、2年次後半からは総合型選抜を見据えた実践プログラムに従って進路決定に向けた準備をしていきます。

<木曜>「レポートアシスト」レポート課題を作成している先生が、設問を解説。学習リズムを作ります。

<金曜>「セレクション」ダンス、料理、お菓子づくり、メイク、ネイル、アフレコ、語学、アート、クラフトなど多彩な講座で興味関心を広げます。

●ライフデザイン：学びの多様化学校としての特別カリキュラム。1年次は年間2~4日のスクーリング参加から始め、2年次以降は徐々に登校回数が増えます。

●オンラインプラス：どのコースの生徒も選べるプラスαの学び、オンライン向けに用意した「レポートアシスト」や「セレクション」、「NHK リレー講座」で学びの基盤作りから興味関心の拡大までサポートします。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力面>

数学と英語の学び直し科目を設置し、小・中学校の復習から始めます。希望者はスタディサプリで小4からの学び直しも可能です(費用別途)。「レポートアシスト」では、レポート提出前に設問に対する解き方のポイントを解説。学習リズムを作り、レポート提出を習慣化するので、学習に不安がある生徒におすすめです。

<メンタル>

常勤のスクールカウンセラーが在籍しており、気軽にカウンセリングが受けられます(予約制)。必要に応じて担任とカウンセラーが連携して生徒をサポートします。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

体育館やグラウンド、各種特別教室など充実した施設を使ってさまざまな部活動、生徒会活動を行っています。運動会(6月)、学園祭(11月)、遠足(クラスにより時期は異なる)などの行事のほか、生徒会主催のイベントも開催しています。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

大学：37%、通信制大学：17%、短期大学：4%、専門学校など：30%、就職：12%

※指定校推薦多数 4年制大学 146校 短期大学 39校 専門学校 163校

<進路のサポート>

週に1~2回開催する「あすなろカフェ」は進路決定前の段階から気軽に相談できる場。生徒の多彩な進路には個別に相談やアドバイス、情報提供をしています。ネット学習サイト上で気軽に進路情報に接することができるなど1、2年次から進路についての意識付けをします。毎年7月には東京本校に大学・専門学校が集まり、説明や相談を受けられるNHK学園生とその保護者向けの進路説明会を開催しています。就職希望者にはハローワーク立川と連携しながら情報提供を行います。志望書・小論文の書き方や面接・グループディスカッションなどの実践的な指導も行います。さらに、登校プラスの「キャリア&コミュニケーション」を選択すると、推薦入学や総合型選抜での進路決定を見据えたプログラムに従って準備を進めることが可能です。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<入学時にかかる費用>

入学金 50,000円(推薦入学者は15,000円免除)、施設設備充実費 20,000円(ベーシック・ライフデザイン)、教育運営費 40,000円(ベーシック) 100,000円(ライフデザイン)、生徒会費 2,000円、教材費約1科目あたり約2,500円×履修科目数+教材送料 1,100円

※週1~3日登校する「登校プラス」、全コースの生徒対象のプラスαの学び「オンラインプラス」については、NHK学園高等学校のブースにて説明します。生徒募集要項や公式サイトでもご確認いただけます。ご不明の点は入学前相談係へお問合せください。電話 042-573-8112(月~土、9:30~17:30 ※祝日・特別休業日を除く)

<年間授業料>

1単位あたり 12,000円×単位数 ※高等学校等就学支援金、東京都私立高等学校等授業料助成金対象

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<出願期間期>

新入学(推薦入学) 2027年1月15日~1月24日

新入学(一般入学) 2027年1月25日~4月30日

出願書類と面接

推薦入学で出願希望の方は「入学相談」が必須となります。入学相談についてのご案内および必要書類の配布は2026年6月13日(土)以降に実施するNHK学園の「学校紹介イベント」もしくは「個別相談」にて行います。ライフデザインの推薦入学は「入学相談」必須ではありませんが、出願前の個別相談をおすすめします。

<説明会・見学会>

平日および土曜日に個別相談・学校見学を行っています。オンライン説明会も定期的に開催中。

◆今後のイベント開催スケジュール◆

中学生対象学校紹介イベント「NHK学園に行ってみよう！」 7/18(土) 9/12(土) 10/31(土)

スクーリング見学会 7/11(土) 9/26(土) 10/10(土) 11/7(土)

オープンキャンパス 8/1(土) 学園祭 11/15(日)

※イベントへの参加にはお申込みが必要です。公式サイトから各イベント専用申込みフォームを使って、お申込みください。開催1か月前を目安に受付を開始します。

<転学・編入について>

転入学：12月10日まで随時出願を受け付けています。

2026年度編入学：後期編入学は2026年8月1日~9月30日に出願受付。

所在地	東京都国立市富士見台 2-36-2	電話番号	042-573-8112(月~土、9:30~17:30 ※祝日、特別休業日除く)
アクセス	JR 中央線国立駅より徒歩 18 分、 もしくはバス 5 分	FAX	042-573-3845
	JR 南武線谷保駅より徒歩 8 分	メール アドレス	公式サイト上のお問い合わせ受付フォーム をご利用ください。

● GRES 高等学院 (サポート校)



1. 生徒は何人位いますか? どんな生徒が多いですか?

<生徒数>

約 20 名 (GRES 高等学院・フリースクールグレス (中学生対象))

<どんな生徒が多い?>

約 8.9 割の生徒が、GRES 入学前に不登校を経験しています。2.5 から 8.1 へ!

(この数字は、入学前の自分と入学後の自分に点数をつけたものです! 10 点満点)

[入学前]◆人が怖くて外に出られなかった◆人と話すのが怖い・中途半端にやる気だけはあった

◆時間にルーズ ◆ほとんど何もしてなかった ◆外にも出られず、生活も不規則

[入学後]◇いろんなことに頑張れるようになった ◇行動力 UP ◇アルバイトを始めた

◇朝起きられるように◇勉強とか頑張ってる ◇新しいことにチャレンジするようになった

自分らしくいられる場所に出会った生徒たちは、のびのびと成長していきます。安心できる環境だからこそ、生徒たちは新しいことに挑戦しようとする意欲が自然と育っていくのだと思います。

2. 学校の特徴は何ですか?

①「入学する高校を選べる」自分に合った高校を選び入学することができます。

【提携校】鹿島山北高等学校/松本国際高等学校

【スクーリング】

・鹿島山北高等学校 (集中スクーリング 3 泊 4 日ホテル泊) 場所: 神奈川県山北町

・松本国際高等学校 (年間 33 日以上 の時間割から、自分の履修している科目の授業を受ける)

②「少人数制」勉強に不安がある、不登校だったからみんなと上手く付き合えるか心配、大人数が苦手など学校生活へ不安があっても大丈夫。

③少人数制のサポート校ですが授業を行っています。勉強に自信がなくても基礎からしっかりと学び直しますので安心してください。

④オンライン英会話や月 1 回調理実習があります。

⑤「海外体験プログラム」1 年に一度海外体験プログラム (GRES grow up program)に参加することができます。実績国: ハワイ・セブ島 (希望者のみ/分割積み立ても実施しております)

3. 学校へは毎日通わないといけませんか?

毎日通わなくても大丈夫です。

GRES 高等学院では、一人ひとりのペースに合わせて無理なく登校しながら、高校卒業資格の取得を目指せます。

無理に毎日通う必要はありませんが、GRES 高等学院にはこんな魅力があります。

・少人数授業+学び直して、基礎から丁寧にサポート。勉強に不安がある方でも安心して取り組みます。

・セブ島 QQEnglish とのオンライン英会話で、楽しみながら英語に触れ、自然と自信を育てます。

・イタリア亭 Rione での調理実習や「青春食堂」で、実践的な経験を積みながら社会性も身につきます。

・通信制高校の課題サポートも充実しており、学習面もしっかりフォローします。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか?

<学力>勉強が苦手な子に関して、しっかりと卒業できるようサポートしていきます。自習の時間に授業やレポートでわからない所の復習や指導もしています。勉強に関して不安な生徒は遠慮なく相談してください。それぞれにあった卒業までの計画を一緒に立てていきましょう。※長期休み中も開校しています。

<メンタル>GRES 高等学院は少人数のため、生徒と先生が会話する機会が圧倒的に多いです。そういった日々の関りの中で、生徒の今の気持ちや心のコンディションをキャッチするように心がけています。生徒・保護者が気軽に相談できる環境です。年に 2 回の 3 者面談も実施。

<ボランティアスタッフ>卒業生達がボランティアスタッフとなりお手伝いをしてくれています。各種イベントなどに参加し、時には身近なお兄さんお姉さんが相談に乗ってくれることもあります。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

<学校行事>

【学校行事】バーベキュー、よみうりランド、ディズニーランド、スカイツリー遠足、高尾山遠足、集英社ジャンプ編集部見学、大学・専門学校見学、接骨院職業体験等

【海外体験】詳しくはパンフレットをご覧ください。※参加は希望者のみ

【職業体験プログラム】未来の自分をイメージしやすくするため、様々な職業の話や、働く姿、職場見学をさせて頂いています。「自分の個性や能力に合う仕事を見つける」を大切にしております。

実施例：弁護士・中小企業診断士・駅務員・理容師・海洋開発技術研究所・裁判所・社会福祉士など

【体験授業】漢字検定、電卓検定、世界遺産検定、ネイル、物づくり、バスケットボール、など。

キックボクシングジム GRES 8Mile GYM 併設

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先> 卒業後の進路決定率は 95%以上

進学（大学・専門）60% 就職 30% その他 5%

<進路のサポート>

生徒一人ひとりに合った進路先と一緒に探すことに力を入れています。グレススタッフが大切にしていることは、「卒業率や進学率のような数字ではなく、いきいきと学び、いきいきと働ける場所に生徒達を送ること」です。

7. 卒業までにかかる金額はどれくらいですか？

<GRES 高等学院年間学費>

入学金 33,000 円

年間授業料

■週 5 日コース：前期 284,000 円+後期 264,000 円(税込)

■自習コース：前期 218,000 円+後期 198,000 円(税込)

※一括でのお支払いも可能です。

<通信制高校年間学費>

■鹿島山北高等学校：約 110,000 円

■松本国際高等学校：約 40,000 円

※別途、入学金・教科書代等の費用がかかります。詳細は各高校募集要項参照。

※変更の可能性がありますのでご了承ください。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<説明会・見学会>GRES 高等学院にて、学校説明をさせていただきます。電話、メール、HP 内お問い合わせホームより予約申し込みをしてください。(見学も随時行っています。)

<入学試験の時期・方法>鹿島山北は書類審査、松本国際は書類審査・面接。

<転学・編入について>

新入生（中学 3 年生）：12 月～1 月願書受付開始です。※希望する高校により若干異なります。

転入生（高校生）：毎月 1 日に入学が可能です。※翌年 3 月卒業希望の高校 3 年生はご相談ください。

編入学（高校に進学したがすでに辞めている）：4 月 10 月入学が可能です。

所在地	東京都昭島市玉川町 1-1-12 エルビル 3 階-A	電話番号	042-519-2385
アクセス	JR 青梅線 東中神駅南口 徒歩 1 分	FAX	042-519-2395
		メール アドレス	info@gres-school.com



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

立川学習センターの生徒数は3学年合計で約90名。全日制高校の3クラス分ほどの少人数制なので、一人ひとりに丁寧な指導が可能です。なお、1年生の新生入生は25名に制限しています。

<どんな生徒が多い？>

LINEや日々の対面で相談が可能なので、安心して過ごせます。本校には、中学校卒業後の進路として選んだ方、事情により他校を中退し再スタートを切るために選んだ方、不登校や学力不安などの悩みを抱えた生徒が在籍しています。

勉強面では、中学の学び直しが必要な方から大学進学を見据える生徒まで、多様な生徒がいます。中には学費を貯めるためにアルバイトと勉強を両立している生徒も多く在籍しています。

2. 学校の特徴は何ですか？

本校は個別指導を重視しており、学習面だけでなく生活面でも、一人ひとりの個性に寄り添った指導を行っています。生徒からは相談できる先生が選べる「メンター先生」の導入などから、「居心地の良い学校」と言われており、卒業率は98%、過去7年間の転学事例はわずか4件です。週1回のスクールカウンセラーの相談やLINEでの気軽なやりとりもあり、精神面のサポートも充実しています。

母体が学習塾であるため、高校の先生は塾の講師も兼任しており、わかりやすく楽しい授業が強み。希望に応じて中学の復習から大学・英検対策まで幅広く対応できます。

生活面では、生徒主体の「生徒会」制度があり、行事や学校づくりにも積極的に関わられます。

また、地域との連携にも力を入れており、ボランティア活動も活発です。たとえば「立川南口商店街 謎解きイベント」では、市役所や商店街会長と連携し約300名が参加。人前に出るのが苦手な生徒も、イラスト制作・地図作成・メール対応など自分の得意を活かして参加できました。

さらにデジタルイラスト、韓国語コースは無料で受講することが出来、有料で美容、英会話、大学進学、プログラミングなどの専門授業も設置。興味に合わせて多様なチャレンジができます。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

<通学スタイル・コース紹介>

毎日通学する必要はなく、週1~5日の間で自由に時間割を設定できます。生活リズムや目標に合わせて「曜日・日数固定」での登校をおすすめしていますが、週2日程度でも卒業は可能です。体調不良などの場合は、LINE連絡で気軽にお休みも可能です。

● コース紹介

一般通信コース：自宅学習中心。登校はレポート・テスト・スクーリング時のみ（社会人など約5%が在籍）。

通学コース：週2~5日登校で、授業を受けながら学ぶ一般的なスタイル（15~18歳の約65%が在籍）。

専門チャレンジコース：通学に加えて、イラスト・美容などの専門授業を受けられるコース（15~18歳の約30%が在籍）。

● スクーリングについて

原則として2年次に沖縄での宿泊型スクーリングを実施（希望制）。そのほかのスクーリングは秋葉原で行います。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

中学校の基礎内容で学び直しのご希望があれば個別の復習授業を組んでいます。通常的时间割についても、集団だけでなく個別授業も取り入れています。大学受験勉強は原則有料ですが、それ以外の中学レベルの学び直しなどは週4時間以内であれば、追加の料金はありません。

<メンタル>

週1回スクールカウンセラーが来校しており、気軽に相談できます。教員は「子ども心理カウンセラー」の資格を持ち、少人数制を活かして日常的に声をかけ合う関係が築かれています。ちょっとした不安や相談ごと、LINEなどで気軽にやり取りできる環境です。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

学校行事は、高尾山登山・BBQ・企業見学・劇団四季観劇・ディズニー遠足などを、月2～4回のペースで実施しています。行事は自由参加で、苦手なものは無理に出る必要はなく、卒業に必要な時間数は個別に配慮。自分のペースを大切にしたい方にも安心です。また地域連携のボランティア活動も充実しており、スマホ教室のサポートや「謎解き大会」も実施、プロスポーツのお手伝いなども行っています。部活動はありませんが、週1回のイラスト・美容の専門授業を「有料の部活動」として開講。進路選択の参考にもなります。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

立川学習センターの進路決定率は過去5年間で平均96%と高く、就職・大学進学・専門学校進学がほぼ均等に分かれています。それぞれの希望に応じ多様な選択肢を実現しています。

<進路のサポート>

大学進：42%、専門学校：42%、正社員就職：21% 大学・専門学校進学希望者には、母体が学習塾である強みを活かし、受験勉強のサポートが充実。個別面談や面接練習、小論文・エントリーシートの添削など、一人ひとりに合わせた指導を行い、過去3年間の第一志望大学合格率は100%にのぼります。さらに、通常は学習塾で年間約40万円かかる受験対策費用が無料で受けられるのも大きなメリットです。

就職希望者には、育て上げネットや民間の就職エージェントと提携し、職業理解やキャリア形成のための教育を実施。本人の希望や適性を重視し、丁寧に仕事探しや面接指導を個別に行っています。

7. 卒業までにかかる金額はどれくらいですか？

<入学時にかかる費用>

入学金：1万円 本校SC費用（スクーリング費用）：11万円 タブレット代：約10万円

<通学型通信制高校 地域最安値レベル 年間授業料>

※授業料は履修単位数により変動します

一般通信コース（自宅学習中心）：年間38万円

通学コース（週3日程度の登校）：年間51万円

専門チャレンジコース（より専門的な学習に対応）：年間68万円

<各種支援制度について>

上記金額から、国や東京都の支援により最大26万円程度の助成を受けることが可能です。

本校は「サポート校」ではなく、正規の通信制高校であるため、上記以外の費用は一切かかりません。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

入学試験では、【面接】と【作文】を実施します。学力試験はありませんので、入試のための勉強に過度な心配は不要です。「人柄」や「やる気」を重視した選考を行っています。

<説明会・見学会>

ぜひ資料請求と校舎見学にお越しくください。少人数制で落ち着いた校舎の雰囲気や、実際の授業内容をご紹介します。また、イラスト・美容総合・プログラミングなどの専門科目については、体験授業（要予約）にもご参加いただけます。気軽にご相談ください。

<転学・編入について>

4月から12月上旬まで、随時受け付けています。現在他校に通っている方、転校をお考えの方もご相談ください。個別に対応いたします。

所在地	東京都立川市柴崎町2-4-11 ファインビル3F	電話番号	042-527-1688
アクセス	JR立川駅南口より徒歩6分 多摩モノレール立川南駅より徒歩4分	FAX	042-508-5088
		メール アドレス	tachikawa@hchs.ed.jp



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

立川キャンパスの生徒は、約40名ほどです。うち半分ほどが中学生、半分が高校生です。

<どんな生徒が多い？>

サポート校の高校生のほか、フリースクールの中学生、高校既卒の進学準備生も在籍しています。小学校・中学校から不登校という生徒がほとんどで、発達障害と診断された生徒、心療内科に通院している生徒も広く受け入れています。大人数が苦手、自分から人に話しかけづらい、新しい環境に慣れるまでに時間がかかるなどの相談を多く受けています。そうした生徒たちも、それぞれのペースで段階を踏みながらできることに取り組んでいます。その結果、明るくなって友達もでき、社会に出る準備を進められるようになっていきます。

2. 学校の特徴は何ですか？

少人数でアットホームな学園です。生徒と先生・スタッフとの距離も近く、放課後には生徒たちと先生と一緒にゲームやおしゃべりをしたりします。また、イベントを通して周囲とコミュニケーションがとれるようになっていくことを目指しています。学習面では、勉強が苦手な不安を感じている生徒がほとんどなので、個別に近い形も使いながら、基礎学習から復習しています。最終的には自分でやるべきことを自分でできるように、また人間関係を作ることができるようになり、卒業後の生活へつなげていくことを大切にしています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

コースが4つあるので、毎日通うのが難しくても、希望のコースを選んで入学できます。

- ①週5日毎日通うことができる総合コース
- ②週3回通うことができる選択コース
- ③週2回の通学+月2回在宅指導の特選コース
- ④自宅等で先生とマンツーマンの在宅コース

各コース、週に1回は自由登校日となります。最初は通えるかどうか心配な場合は週2日の通学から始めて、慣れてきたら毎日通学するコースへ年度途中で切り換えることも可能です。入学時点では在宅コース、卒業時には総合コース、という生徒も数多くいます。最終的には毎日通えるようになることを目指して、自身のペースで出来ることを増やしていくことが可能です。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

学習面に関しては基礎学力のやり直し授業、個別学習における指導が中心となります。休み時間や放課後に、希望者に補習を行なうこともあります。

<メンタル>

少人数制であるということを生かし、生徒たちの様子について、先生・スタッフが細かく目を配れる環境になっています。生活指導という意味で生徒たちを特別扱いすることはありませんが、その後のフォローは厚くすることを常に心がけています。また、生徒面談・保護者面談を定期的に行い、期間以外にも個別に面談や電話相談ができる環境を作っています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

毎年夏は避暑地で自然体験として宿泊行事を行なっています。それ以外にも月に一回のペースで、バーベキュー大会やボウリング大会、レクリエーション大会などの学校行事を実施しています。また、全体行事に参加できない生徒向けに、少人数でのイベントも定期的に行っています。部活動はありませんが、生徒主導でやりたいことのアイディアを出し、形にしていける環境づくりを心掛けています。また、コロナの影響でしばらく中止になっていた修学旅行が2024年6月に復活しました。復活第一弾は沖縄へ3泊4日。それぞれに楽しい思い出を作ってきたようです。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

大学・短大：63.1%、専門学校：18.1%、就職：8.7%、その他：10.1%（受験浪人含む）

<進路のサポート>

大学・短期大学・専門学校への進学希望が多く、一般入試というよりは、AO入試や指定校・学校推薦などで受験をして進学していく生徒が多いです。初めは将来にイメージを持てなかった生徒も徐々に自分に自信が持てるようになり、最終的に進学を目指す、というケースも多々あります。一般入試で大学進学を目指す場合、個別での対応がメインとなります。

また、高校卒業後はサポステと連携をとりながら就労、その後の定着を目指す生徒もいます。

7. 卒業までにかかる金額はどれくらいですか？

<入学時にかかる費用> ※金額はいずれも税込

合計：374,000円（入学金：110,000円、活動費：年間264,000円）

<年間授業料> ※金額はいずれも税込

①総合コース：年間792,000円

②選択コース：年間528,000円

③特選コース：年間726,000円

④在宅コース：年間660,000円

※コースは月ごとに変更可能です。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

入学願書・学習環境調査書を記入、提出していただきます。願書受理後、入試を行います。各入試に関する詳細は募集要項をご覧くださいののですが、どの形式でも共通していることは、「落とすための試験ではない」ということです。受験料も必要ありません。

<説明会・見学会>

一度来校のうえで直接お話をさせていただく機会を持つことを基本としています。来校が難しい場合には、我々の方から訪問させていただくこともあります。まずは教育相談的な形で、ご連絡をいただければと思っております。授業見学や体験授業も随時行なっておりますので、詳しくはお問い合わせください。

<転入・編入について>

転入・編入の場合も、事前に直接お話をさせていただいております。こちらまずはお問い合わせください。

所在地	東京都立川市柴崎町3-10-20 渡辺ビル4F	電話番号	0120-883-122
アクセス	JR立川駅南口より徒歩3分 多摩モノレール立川南駅より徒歩2分	FAX	042-528-6663
		メール アドレス	w-tachikawa@kame.co.jp



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

全生徒数は1650名で立川キャンパスには137名の生徒が在籍しています。

<どんな生徒が多い？>

比較的小となしい生徒が多いです。スポーツ大会やID祭などの行事には積極的に参加する生徒が多いです。運動が苦手な方は、応援だけの参加も大丈夫です。登校の負担を減らし、「自分のやりたいことに時間を多く使いたい」という生徒や対人関係が苦手な生徒、不登校の経験がある生徒などいろいろな生徒が在籍しています。多くの生徒が過ごしやすいキャンパスと思っています。

2. 学校の特色は何ですか？

自分らしさを” 見つける” ” 育てる” ” どうする!?”

～ID 学園5つの特長～

①ID 学園だけのキャリア教育「夢教育」

「好き」や「得意」を大切にしながら、夢を見つけ、実現するための力を育てる ID 学園独自のキャリア教育「夢教育」を実施しています。

なりたい姿から逆算して行動する力を身に付け、夢に向かう過程において大切な人間力を向上させます。

②探究の深化版「夢活」

慶應義塾大学名誉教授が監修した ID 学園独自の探究カリキュラム「夢活」。生徒一人ひとりが興味・関心あることを元にテーマを見つけ、社会課題と結びつけながら深めていきます。取り組みの成果は、総合型選抜にも活かせる実績や表現力として、進路にもつながります。

③夢につながる多彩なグローバルネットワーク

国内・海外の多数の自治体・企業・大学・専門学校と連携し、出会いを通して生徒の夢を深めています。バングラデシュにある姉妹校との交流は ID 学園ならではの。学力面においては「河合塾マナビス」との提携による進学サポート等も充実しています。

④コースは毎月変更が可能（※全日制高校への転籍は諸条件有り）

毎月コース変更ができるので、その時の体調や気分・目標に合わせて無理なく自分のペースで学ぶことができます。また、同じ学校法人が運営している利点を活かし、一定の条件を満たせば全日制高校への転籍もできます。

⑤目指す進路決定率100%

全生徒に担任が付き、生徒一人ひとりの個性や夢に応じて、学力・メンタルを細かくサポートし、進路指導を行います。幅広い選択肢の中から「自分らしい進路」を導き出し、卒業までしっかりと伴走します。（過去実績：卒業率96.0%、進学率76.1%）また、立川キャンパスには2つの大きな強みがあります。

①立川駅から徒歩2分！ 立川駅隣・ミスタードーナツの近くです。

②宿泊なし！キャンパスのみでスクーリング完結！ 立川キャンパスだけでスクーリングが完結します。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

毎日通わなくて大丈夫です。自分のコースに合わせて無理なく登校しましょう。

- ・オンライン学習コース 週0日
- ・オンライン学習コースプラスONEコース 週1日（火曜日）登校可
- ・週3日コース 週3日（月・水・金）登校可
- ・総合進学コース 週5日登校可
- ・大学受験特化コース 週5日登校可 の5つのコースがあります。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力面>

数学と英語は、リトライ授業があり、中学校の復習から始めます。

芝生スペースでは、分からないところのある生徒が先生に質問したり、個別指導を受けたりすることができます。

<メンタル>

スクールカウンセラーは週1日。予約制ですが気軽にカウンセリングが受けられます。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

修学旅行はありませんが、国内研修旅行として、長野での研修（2泊3日）、陸前高田での研修（3泊4日）があります。また、3月には海外研修（カンボジアとバングラデシュ）があります。いずれも希望制となっています。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>卒業率 96.0%

大学進学率 53.1%、専門学校進学率：23.0%、就職：4.5%、浪人：19.4%

<進路のサポート>

生徒の多彩な進路には個別に相談やアドバイス、情報提供をしています。就職希望者にはハローワーク立川と連携しながら情報提供を行います。もちろん、実践的な指導にも力を入れており、進路に合わせた志望書・小論文の書き方指導、面接の指導などを実施しています。進路について聞きたいことがあれば、まず担任に相談してください。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<基礎学費>オンライン学習コースの学費（1年次にかかる費用）【2025年度】

入学金 50,000 円、授業料 207,000 円(30 単位分)、スクーリング費 30,000 円(30 単位分)、本校教育充実費 54,000 円 計 341,000 円

・プラス ONE オプションコース 基礎学費、オプション費 180,000 円

・週3日コース 基礎学費、登録費 100,000 円、プログラム費 202,800 円、教育充実費 140,400 円

・総合進学コース基礎学費、登録費 100,000 円、プログラム費 202,800 円、教育充実費 140,400 円

・大学受験特化コース 総合進学コースの費用、プログラム費等 428,000 円

※高等学校等就学支援金、東京都私立高等学校等授業料助成金対象

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>出願書類（調査書、志望理由書等）、面接（免除制度あります）

<説明会・見学会>

月～金：個別相談、土：学校説明会、オープンキャンパスなど

<転学・編入について>

ID 学園は毎月転入生を受け付けております。

ご検討の方は、一度お問い合わせくださいませ。

042-512-5216

所在地	立川市曙町 2-4-3 TIS ビル3階	電話番号	042-512-5216（立川C） 03-5842-1968（東京本部）
アクセス	JR 立川駅北口より徒歩2分、 多摩モノレール「立川北駅」より 徒歩1分	FAX	042-512-0031
		メール アドレス	公式ホームページ上にお問い合わせ受付フォームを設置しています。



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

180人

<どんな生徒が多い？>

真面目で、素直で、優しい生徒が多いです。

2. 学校の特徴は何ですか？

先生と相談しながら自分のペースで学習したい・登校したい、その中で自分に一番合った学びができる。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

週1～週5の間で、目標や体調等に合わせて、登校ペースを決められます。

また、担任の先生と一緒に登校・学習計画を立てますので、安心して高校生活を送ることができます。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

先生と一緒に学習計画を立て、課題に取り組み、その取り組みを先生と一緒に振り返り、振り返りを踏まえて、先生と一緒に新たな目標を立てて、取り組んでいくというコーチング面談によって生徒たちをサポートしています。

<メンタル>

教職員は全員60時間という研修を受けて、試験に合格し、学習心理支援カウンセラーという資格を持っていますので、生徒たちのメンタルサポートも手厚く行っています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

修学旅行などの宿泊行事はありません。また、スクーリングや定期試験、特別活動においても、宿泊行事は行いません。

部活動は現在、オンライン探究部、オンラインe-スポーツ部などオンラインで行う部活動が中心ではありますが、生徒たちが主体となって、部活動を作ることもできます。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

大学・短大：69%、専門学校：15%、就職：6%、その他：10%

<進路のサポート>

- ・面接練習対応
- ・小論文対策講座・小論文添削
- ・志望理由書/エントリーシート対策講座・志望理由書/エントリーシート添削、など

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<入学時にかかる費用>

- ・スマートスタディⅡコース：253,000円
- ・スマートスタディⅠコース：198,000円
- ・単位修得コース：40,000円

<年間授業料>

- ・スマートスタディⅡコース：640,000円
- ・スマートスタディⅠコース：490,000円
- ・単位修得コース：340,000円(25単位で計上した場合)

※全コース：就学支援金・東京都助成金に対応

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

推薦入試・自己推薦入試による入学試験の時期：10月・11月・12月・1月

推薦入試・自己推薦入試による入学試験の方法：面接試験（保護者の方も同席）・作文（400字程度）・筆記試験（国・数・英の3科目の中から1科目を選択）※推薦入試に関しましては、面接試験を免除する

一般入試（専願もしくは併願）による入学試験の時期：1月・2月・3月

一般入試（専願もしくは併願）による入学試験の方法：面接試験（保護者の方も同席）・作文（400字程度）・筆記試験（国・数・英の3科目）※1月の一般入試の専願のみ、筆記試験は国・数・英の3科目の中から1科目を選択可。

<説明会・見学会>

学校説明会もしくは個別相談会にご参加ください。

<転入・編入について>

転入・編入においては、入学試験は随時、入試方法は面接試験（保護者の方も同席）・作文（400字程度を出願時に提出）・筆記試験（国・数・英の3科目の中から1科目を選択）となります。

所在地	東京都立川市曙町1-26-13	電話番号	042-512-7617
アクセス	JR立川駅北口より徒歩6分	FAX	042-512-7618
	多摩モノレール立川北駅より徒歩6分	メールアドレス	t.fujisawa@clark.ed.jp

● 東京都立砂川高等学校（定時制）



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

1クラス約30名、令和9年度からI部2学級、II部2学級、III部2学級の6学級、ほとんどの生徒が3年間で卒業します。全校で約500名の生徒がいます。

<どんな生徒が多い？>

学習にしっかり取り組み、部活動や生徒会、委員会で活躍している生徒などが増えてきています。

2. 学校の特徴は何ですか？

三部制、単位制普通科の学校です。定時制課程の制度を活かし、1クラス約30名と少人数です。自立・進学・志向の学校として、三部の中から自分に合った時間帯を選んで学習することができます。単位制普通科のため多くの選択科目があり、進学から就職まで対応する幅広い学力を身につけることができます。また、行事やボランティア活動での生徒主体の積極的な活動を奨励しています。ICTを活用した授業を推進しています。環境も充実しています。定時制課程は、4年間での卒業が基本ですが、本校は3年間での卒業を基本としています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

月曜日から金曜日まで週5日間、1日6時限の授業があります。1年間で29単位の履修を奨励しています。欠席が多くなると未履修となり、授業を受けたことになりません。単位制のため、3年間かけて74単位を修得すれば、3年間での卒業が可能です。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

夏季休業中には、進学向けと学習に不安のある生徒向けなどの夏期講習があります。1年次生にはNPO法人「育て上げネット」と連携した、学び直しの支援を通年で毎週1回行っています。

<メンタル>

保健相談部を中心に相談体制を整えています。スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカーがそれぞれ週2日勤務、隔週で発達臨床心理士が勤務しています。生徒だけでなく保護者も相談可能です。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

大きな学校行事は、6月スポーツ大会、9月文化祭があります。部活動は、運動部と文化部合わせて23部、5つの同好会が活動しています。中には全国大会に出場する部もあります。

修学旅行は年次で行先を決めています。R7年度は沖縄に行きました。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

令和7年度は大学進学が3割、専門学校進学が5割、就職が2割と、多様な進路に進みました。

<進路のサポート>

どのような進路選択をすれば良いかということから、個別に丁寧な進路指導を行います。NPO法人「育て上げネット」と連携し、進路相談に特化した「キャリアサポーター」に相談もできます。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

入学考査料950円、入学金2,100円、授業1単位当たり1,740円×74単位=128,760円、制服約39,000円、体操服約11,000円、教材費（修学旅行積立を含む）が約72,000円、合計で約250,000円になります。これ以外に教科書代等がかかりますが、ご家庭の経済状況によって、就学支援金、教科書代の補助などの制度が利用できます。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

来年2月下旬から実施される、東京都立高等学校入学者選抜（分割前期・後期）

<説明会・見学会等>

学校説明会 10月4日（日） 11月15日（日） 12月20日（日）

個別相談会 1月17日（日）

<転学・編入について>

各学期ごとに転編入試験を実施しています。詳細は東京都教育委員会ホームページをご確認ください。

転学希望の方は、単位取得が分かる書類の準備をお願いします。出願前に必ず本校にお電話ください。

所在地	東京都立川市泉町935-4	電話番号	042-537-4611
アクセス	多摩モノレール泉体育館駅より徒歩3分	FAX	042-534-0525
		メール アドレス	なし



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

今年度は男子 263 名、女子 386 名 合計 649 名（5月1日現在）です。

<どんな生徒が多い？>

- ・自分のペースで、まじめに学習に取り組む生徒が多いです。
- ・年齢は 15 歳から 60 代まで、中学校からの新入生はもちろん、他の都立高校や私立高校からの転入生や、一度高校を中途退学した後、一念発起で再チャレンジし編入学する生徒や、小さいお子さんがいる生徒など、周囲の状況も学歴（前歴）も様々な生徒が在学しています。

2. 学校の特徴は何ですか？

昼夜間定時制（三部制）との併置校で、多摩地域で唯一の公立の通信制高等学校です。本校は、働きながら学ぶ生徒や再出発のスタートを切ろうとする生徒など、学習意欲のある生徒に、実り多い高校教育の機会を広く提供する「セーフティネットスクール」として、様々な生徒のニーズと都民の期待に応える学校を目指しています。また、本校は、生徒の添削指導を中心とする自学自習を支援し、教育機会の充実を図る学校として、「誰でも学べる学校」「いつでも学べる学校」「どこでも学べる学校」をモットーに、「学び」とのつながり、「人」とのつながり、「世の中」とのつながりの「3つのつながり」を基本的コンセプトとして、日々、教育活動を展開しています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

登校日は、スクーリングの設定されている土曜日です。令和8年度は、前期 12 回・後期 12 回の合計 24 回です。自分の選択した科目のある日、ある時間に登校して、決められた回数スクーリングに出席します。その他に火曜日にもスクーリングがあります。火曜日は前期 8 回、後期 8 回の 16 回です。

毎回登校しなくても大丈夫ですが、スクーリングには学校に登校して出席する必要があります。生徒は自分のペースで登校し、決められた回数のスクーリングに出席しています。

さらに、単位認定試験を受ける必要があります。試験期間中の土曜日に学校で 2～3 週間かけて行いますので、この日も登校する必要があります。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

スクーリングのある土曜日には、校内別室指導支援員等が来校し、個別にレポート作成等の支援をしています。平日には東京都教育委員会の「学びのセーフティネット事業」を委託している「育て上げねっと」などの外部機関（たちかわ ALC）を活用しレポート作成に取り組む生徒もいます。

<メンタル>

- ・東京都の「自立支援チーム」派遣事業の継続派遣校です。定期的に（スクーリングのある土曜日は毎回）ユースソーシャルワーカーが複数名来校し、心理面や生活面の相談・支援を行っています。
- ・東京都の『特別支援教育心理士』の巡回相談事業実施校です。不安や課題のある生徒の要望に応じて面談やアセスメント、検査等を実施しています。スクールカウンセラーも、スクーリングのある土曜日は毎回来校していますので、必要に応じて相談できます。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

○修学旅行はありません。学校行事は校外学習、スポーツ大会等があります。

○部活動は、バスケットボール部、バドミントン部、テニス部、文化活動部がスクーリングのある土曜日に活動しています。

※本校のさまざまなことについて、ホームページ内に「オンライン学校説明会」という動画リストがあります。随時更新していますので、その内容をご確認ください。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

大学・短大：18.9%、専門学校：16.0%、就職：15.4%、その他（左記以外）：49.7%

<進路のサポート>

- ・生徒の希望する進路を実現するために、組織的計画的な進路指導を行っています。
- ・希望進路のカテゴリー毎に必要な情報を提供し、大学、専門学校等への進学希望者向けの情報や就職希望者(公務員試験の受験含む)へのガイダンスや面接指導等についても必要な時期に適切に実施しています。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

<卒業までにかかる費用>

合計：150,000 円程度（3 年間で卒業した場合）

<入学時にかかる費用>

合計：30,000 円～70,000 円

- ・入学考査料：950 円
- ・教科書・教材代等：約 30,000 円程度(選択科目の数、種類により増減があります)
- ・体育館履き：3,960 円(体育を選択する方が必要)
- ・端末購入費最大 30,000 円（補助が受けられる場合あり）

<2 年目以降>

- ・教科書・教材代等：約 30,000 円程度(選択科目の数、種類により増減があります)

<年間授業料>

受講料 1 単位当たり 336 円(就学支援金により免除される場合があります)。

30 単位の場合 10,080 円（卒業に必要な 74 単位分で 24,864 円）

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

入学者選抜を受検してください。

<説明会・見学会>

本校通信制のホームページにオンライン学校説明会の動画があります。ご確認ください。

<転学・編入について>

8 月や 12 月に転学・編入学募集も行っています。基本的には転入学者のみです。編入学については中等教育学校に在籍の方が本校を受検する場合等に限ります。

所在地	東京都立川市泉町935-4	電話番号	042-537-4982(直通)
アクセス	多摩モノレール泉体育館駅より徒歩3分	FAX	042-534-0525
		メール アドレス	なし

● 東京都立秋留台高等学校（エンカレッジスクール）



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

- ・令和8年4月1日現在、609名の生徒が在籍しています。
- ・1学年7クラス、1クラス35人までの少人数制をとっています。

<どんな生徒が多い？>

- ・勉強が不得意、勉強以外にも色々な事に自信が持てない、「もう一度学び直したい」「不得意な事を克服したい」と意欲や目標を持った生徒が毎年沢山、志望し入学しています。
- ・少人数の指導に魅力を感じて受検する生徒も多くいます。

2. 学校の特色は何ですか？

- 社会人として通用するための「学び直し」…学習を始め、社会人としてのマナーや態度も学びます。
- 朝の30分授業（ベーシックⅡ＋セルフマネジメント）
 - ・「ベーシックⅡ」…学習と小テストを繰り返して、学び直しや復習を行い、基礎学力や教養を身に着けるとともに、集中力を培います。
 - ・「セルフマネジメント」…高校生手帳を活用し、昨日の振り返りや今日の目標、予定を手帳に書いていくことで、自己管理能力を身につけ、進路実現につなげていきます。
- 進路実現・社会参加に向け、身だしなみや挨拶、礼儀等のマナーも学びます。
- ベーシックⅠ基礎・発展…小・中学段階からの内容を学び直し、「わかる」を積み重ね自信を付けます。
- 二人担任制・少人数制・インターンシップ
 - …二人担任制で、生徒の学校生活を手厚くサポートしています。
 - …少人数制・習熟度別の授業を教科によって実施、きめ細やかな指導、安心して学べる環境整備に取り組んでいます。
 - …進路自己実現に向けて、インターンシップ経験も含め、3年間を通して、段階的、計画的な指導をしています。インターンシップでは、体験を通して働く生活や職業観を養います。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

【登校について】

- 登校は毎日です。
- 月曜日から金曜日まで、毎日8時50分から授業が始まります。
- 遅刻や欠席が多いと進級や卒業が難しくなります。
- 朝から登校できるように、生活習慣を整えておくことが大切です。
- 学年制での単位認定を行うため、1年間を通して安定した登校が必要です。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

- 確認テスト前には、教科によって対策教室などを設け、学力に不安のある生徒のフォローを行っています。
- 日々の授業での疑問点は、教科の先生が丁寧に説明してくれます。
- 年に2回、基礎学力の把握のため、基礎力診断テストを実施しています。
- 資格試験のための講座なども行っています。毎年希望者を募り、実施しています。
- 各種検定の受検も実施。検定によっては、フォロー講座を行っています。

<メンタル>

- スクールカウンセラー、学校医、ユースソーシャルワーカー、心理士、キャリアカウンセラー等、専門家によるサポートがあります。
- 学校生活で、生徒が少し話を聞いて欲しいと思った時に、短時間で話ができる体制を心掛けています。
- 担任だけでなく、上記の様な外部人材との連携を活用することで、安心して学校生活を送れるよう、多様な支援への対応にも取り組んでいます。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

<学校行事>

- 行事は体育大会、オリオン祭（文化祭）、合唱コンクール、文化の祭典（文化部発表会）等の全校行事があります。その他、遠足や学年ごとの行事もあります。
- 進路関係行事も学年ごとに、ガイダンス、見学（企業・学校）、インターンシップ等があります。
- 修学旅行は3年次に2泊3日で行きます。今年は5月末に神戸・大阪方面に行きます。

<部活動>

- 部活動は全員加入を勧めています。3年間続けられる、経験したい活動を通して、自分の可能性を拓けます。
- 文化部と運動部を合わせると29部活あります。
- 外部指導員、専門家を活用し、専門的・本格的で充実した指導を受けられる部活があります。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

- 生徒のおよそ30%が就職、70%が進学をしています。進学先は大学、短大、専門学校等です。
- 就労選択として、資格や専門性を学ぶ事を目的とした進学が多くを占める様になり、職能開発センターも選択肢の一つとなっています。
- 企業就労では、様々な職種の求人があり、インターンシップや会社見学等を経て、気持ちを固め、選択していく傾向にあります。

<進路のサポート>

- 在校生へは、外部機関が来校し、講演会やガイダンスを行い、相談にも対応しています。
- 進路先が決まらない場合は、若者サポートステーション、福祉機関などに支援の引き継ぎもしていきます。
- 進路選択先での支援を希望する場合、必要に応じて連携を考え、実施していきます。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

令和8年度 参考

<入学時にかかる費用>

- 入学金、授業料（減免制度、就学支援金制度あり）：12万円程度
- 制服、体操服、教科書、端末等：11万円程度

【学校徴収金】 6万円程度/年

【その他】 年度ごとに、各学年で教科書代や部活動費、等別途がかかります。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

中学生は東京都立高等学校入学者選抜（令和8年度入試）を受験し合格してください。

<入学試験の時期・方法>

- 令和7年度入試は、小論文・面接の試験でした。
- ・「学び直したい」という気持ちと、遅刻や欠席せず、朝から登校できる生活習慣を身につけておく事が大事です。

<説明会・見学会>

- 校内：6/13（土）、7/30（木）、7/31（金）、8/20日（木）、8/21（金）、10/24（土）、11/7（土）、12/5（土）、1/9（土）

（個別見学は相談して下さい。）

- 校外：5月末～11月末まで、合同説明会、相談会へ出席しています。HPをご覧ください。

<転学・編入について>

- 東京都立高等学校の規定に則って行います。詳しくは、東京都教育委員会ホームページをご確認下さい。

所在地	東京都あきる野市平沢153-4	電話番号	042-559-6821
アクセス	JR五日市線東秋留駅より徒歩20分	FAX	042-558-3164
	JR 青梅線福生駅よりバス乗換「草花」 下車 徒歩10分	メール アドレス	なし



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

<生徒数>

令和8年4月現在、154名の生徒が在籍しています。

募集定員は、1学年90名です。夜間定時制としては東京都最大級のクラス数です。

<どんな生徒が多い？>

中学卒業からそのまま進学してくる生徒が多いですが、もう一度基本から学びなおそうと入学する生徒も多くいます。また、フィリピン、中国、ネパール、ブラジルなど様々な外国にルーツをもつ生徒が通っています。

2. 学校の特徴は何ですか？

様々な志望理由で集まった仲間と共に、学校に通いながらそれぞれの進路を実現します。

単位制総合学科としての特色を活かし、4年間で卒業するコースと3年間で卒業するコースを自分で決めることが出来ます。農場など広大な敷地を活かした農業に関する授業や家庭科の授業が多くあり、基礎を学ぶ1, 2年次には少人数授業も行っています。数学・英語は習熟度別少人数授業によりきめ細やかな指導を行っています。たくさんの選択科目があり、自分だけの時間割をつくることができます。

また、本校で調理されている温かくて美味しい給食や、バスケットボールなど、定時制の中でもとても活発に練習や大会に参加している部活動もあります。

生徒に身に付けて欲しい力として、①人と関わる力 ②自分を見つめる力 ③未来を切り拓く力 の3つの力を定めています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

毎日登校をしないといけません。

4年間で卒業するコースを選択した場合は、月曜日から金曜日まで1日4時間の授業があります。

3年間で卒業するコースを選択した場合は、上記に加えて、火曜日、水曜日、金曜日に15時40分からの授業が2時間あります。午前中の過ごし方も工夫し、生活リズムを整えて通学することが継続するコツです。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

<学力>

英語、数学にて習熟度別少人数授業を実施し、長期休業期間には補習的な講座や資格取得、進学や就職に向けた講座など生徒の希望に応える講座を行っています。日本語指導員も充実していて、日本語に不安を感じている生徒向けの講座の他、面談や取り出し授業、日本語能力試験に向けた勉強も一緒に行っています。

<メンタル>

専門医派遣事業として年3回、精神科医を招き、個別相談のほか、講演会を実施しています。

週2回(月曜日と水曜日)にスクールカウンセラー、週1回(金曜日)ユースソーシャルワーカーが来校し、心のサポートと自立を目指す支援を行っています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

・修学旅行

今年度は沖縄(2泊3日)の予定です。

・学校行事

文化祭(全日制と合同で実施)、体育祭(ナイターで実施)、遠足(お台場や横浜、浅草巡り、ディズニー等)生徒会主催の球技大会、芸術鑑賞教室など

・部活動

8の部活動が活動しています。大会出場やコンクールに出品する部活動などの他、各自のペースで楽しみながら活動する部活動もあります。男子バスケットボール部、R5東京都定時制通信制春季大会4位、全国大会ベスト16。

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

<進路先>

令和5年度卒業生（45名）－進学16名、就職29名

令和6年度卒業生（42名）－進学17名、就職17名

令和7年度卒業生（30名）－進学8名、就職15名

【進学】大学・短大、専門学校などさまざまな進学先へと進学しています。

4年制大学進学者は、指定校推薦やAO入試で進学しています。職業能力開発センターに入学し、専門職のための専門技術を身に付ける生徒もいます。

【就職】製造技術、機械、接客や介護などサービス業などへの就職が多いですが、日本郵便や公務員への就職者もいます。ほとんどが青梅市近辺の企業へ就職しています。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

入学考査料950円、入学料2,100円

授業料は高等学校の定時制単位制課程 1単位につき1,740円×履修単位数

卒業要件下限74単位となりますので1,740円×74単位＝128,760円。

学校徴収金（学校行事、教科書、教材費、生徒会費等）70,000円／年、

給食（6年度からは無料）、上履き体育着等12,375円 等が掛かります。

高等学校等就学支援金制度により保護者の所得に応じて授業料が無料になる制度があります。

その他に奨学金制度や補助金制度が条件により適用されます。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

中学生は東京都立高等学校入学者選抜（令和8年度入試）を受験し合格してください。

本校では国語、数学、英語の学力検査のほかに面接を実施しています。

1次募集の状況によっては2次募集（令和8年3月を予定）を行います。

<説明会・見学会>

個別の相談や学校見学は随時受け付けています。お電話にてご連絡ください。

<転学・編入について>

既に中学校を卒業し進路変更を検討している方は、転学、編入学募集を年3回、学期ごとに実施しています（募集のない場合もあります）。

所在地	東京都青梅市勝沼1-60-1	電話番号	0428-22-7604
アクセス	JR青梅線東青梅駅より徒歩3分	FAX	0428-22-7624
		メール アドレス	S1000293@section.metro.tokyo.jp

● 東京都立五日市高等学校 (全日制)



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

全校生徒244名（令和8年6月現在）。各学年4クラスの学校です。
アウトドアコースなど授業の特色や少人数の雰囲気を求めて入学する生徒が多いです。コミュニケーションを苦手とする生徒がそれぞれを尊重し合いながら、様々な経験を積みながら過ごしています。

2. 学校の特色は何ですか？

○少人数であることを生かして生徒一人ひとりに合った丁寧な対応をしています。
○スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカー、特別支援教育心理士等、相談体制が充実しています。
○ボルダリング場等、他校にはない施設を使った授業や探究活動において成果発表の場である「五高フェス」などを実施し地域の方と一緒に連携を行っています。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

毎日登校する必要があります。先生たちは、生徒が毎日学校に通うことができるように色々なサポートをしています。1日6時間の授業を、月曜日から金曜日まで週5日間行っています。分かりやすい授業、少人数指導、質問・相談しやすい環境を整えています。優しい仲間たちと毎日楽しそうに登校してくる生徒が多いです。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

○週に4日、スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカーが来校し、個々の生徒や保護者のニーズに合わせた様々な悩みや相談に対応しています。
○放課後には、補習講座があり、苦手科目の補習や考査対策、受験対策をしています。
○校内の居場所として「五高カフェ」を放課後に実施しています。お茶を飲みながら語り合ったり、勉強したり、思い思いに過ごしています。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

○修学旅行はここ数年沖縄に2泊3日で行っています。
○体育祭を秋に実施、五高フェス（文化祭）を11月に定時制と合同で実施しています。12月には合唱祭を実施しています。1月には探究活動の成果を発表する場である「探究成果発表会」と英語でのスピーチコンテストを実施しています。
○運動部：野球部、サッカー部、バスケットボール部、バドミントン部、テニス部、バレー部、ボルダリング部、ウェイトリフティング部、自転車競技部など
文化部：吹奏楽部、科学部、茶道部、華道部、イラスト部、軽音楽部、家庭科部、ESS国際交流部、ボランティア部など

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

近年は就職よりも進学を希望する生徒が多くなっています。
○進学：四年制大学や短期大学に進学する生徒が増えています。多くの生徒は指定校推薦等で4年制大学や専門学校に進学しています。最近是一般入試にチャレンジして合格する生徒も出始めました。
○就職：男女ともに多摩地域の企業に就職するケースが多いです。

7. 卒業までにかかる金額はどれくらいですか？

入学料：2,100円（減免制度あり）
授業料：32,400円/年（就学支援金制度あり）
学校徴収金（学校行事、教科書（補助金制度あり）、教材費等）約60,000円/年

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入学試験の時期・方法>

東京都立高等学校入学者選抜を受験してください。1次募集の状況によっては2次募集を行います。
都立高等学校転学・編入学募集については、東京都教育委員会からの発表を御確認ください。

<説明会・見学会>

学校説明会や授業公開の日程はありますが、随時見学等を受け付けておりますので、気軽にお電話ください。

<転学・編入について>

転学・編入学については、東京都教育委員会のホームページをご確認ください。

所在地	東京都あきる野市五日市894番地	電話番号	042-596-0176
アクセス	JR 武蔵五日市駅から徒歩約15分	FAX	042-596-1250
	JR 武蔵五日市駅からバス約5分「五日市高校」下車徒歩3分	メールアドレス	S1000171@section.metro.tokyo.jp

● 東京都立五日市高等学校 (定時制)



1. 生徒は何人位いますか？ どんな生徒が多いですか？

全校生徒 33 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)、各学年 1 クラス編成の普通科の夜間定時制高校です。落ち着いた雰囲気の中で、心優しい生徒が多く学んでいます。

2. 学校の特徴は何ですか？

○少人数であることを生かして生徒一人ひとりに合った丁寧な対応をしています。
○スクールカウンセラー 2 名、ユースソーシャルワーカー 1 名、特別支援教育心理士 1 名等、教育相談体制が充実しています。
○天文台・ボルダリング壁等他校にはない施設を活用した授業の他に、天体観望会・和太鼓演奏等による地域連携に力を注いでおります。

3. 学校へは毎日通わないといけませんか？

1 日 4 時間の授業を、月曜日から金曜日まで週 5 日間行っています。
分かりやすい授業、質問・相談しやすい先生、優しい仲間たちと毎日楽しそうに登校してくる生徒が多いです。
小・中学校時代に学校に通えなかった生徒、他の高校から転学してくる生徒、多様な特性を持っている生徒等がお互いを尊重し合いながら、毎日充実した日々を過ごしています。
先生たちも、生徒が毎日学校に通うことができるように保護者と連携して支援しています。

4. 学力やメンタルについてのフォローはありますか？

○33 名の生徒に教員 8 名の体制で、一人ひとりの相談や授業等の質問に教員が対応できる時間が多いです。
○水曜日及び金曜日に (各曜日 1 名ずつ) スクールカウンセラー、金曜日にユースソーシャルワーカーが来校し、卒業後も含め、個々の生徒や保護者のニーズに合わせた様々な悩みや相談に対応しています。
○テスト前の放課後には、生徒会が主催する『SSC (Study Students Club)』(考查前学習会) に、学年を超えた生徒等が集まって教え合ったり、先生に質問したりしながら主体的に勉強に取り組んでいます。

5. 修学旅行などの学校行事や部活動はありますか？

○運動部：卓球部、バスケットボール部、バドミントン部、テニス部、トレーニング部
文化部：和太鼓部、イラスト・パソコン部、軽音楽部、天文部
○学校行事・地域行事：研修旅行、体育祭、五高フェス (全日制と合同開催)、阿伎留神社水無月祓、ヨルイチ等

6. 卒業後の進路の傾向はどのようになっていますか？

○就職 100%：ここ数年、卒業生の全員が就職している。男子は製造業、女子は販売業に就くケースが多く、定時制課程の生徒を評価していただき、ぜひ採用したいと仰っていただいている企業も多くあります。
○進学：過去には、四年制または短期大学及び専門学校に進学する生徒もいました。

7. 卒業までにかかる金額はどれだけですか？

入学科：2,100 円 (減免制度あり)
授業料：32,400 円/年 (就学支援金制度あり)
学校徴収金 (学校行事、教科書 (補助金制度あり)、教材費等) 50,000 円/年、
給食 (希望者) 0 円/年 (1 食 490 円) (補助金制度あり。都立学校給食費負担軽減事業)
※全日制、定時制共に、その他、生徒会費等が掛かります。

8. 入学するにはどうしたらいいですか？

<入試試験の時期・方法>

東京都立高等学校入学者選抜を受験してください。1次募集の状況によっては2次募集を行います。詳細については、東京都教育委員会からの発表を御確認ください。

<説明会・見学会>

ホームページに日程をアップしますので、ホームページを御確認ください。

<転学・編入学>

転学・編入学については、東京都教育委員会のホームページを御確認ください。

所在地	東京都あきる野市五日市894番地	電話番号	042-596-0176
アクセス	JR 武蔵五日市駅から徒歩約15分	FAX	042-596-1250
		メール アドレス	S1000171@section.metro.tokyo.jp

● 東京西法務少年支援センター（もくせいの杜心理相談室）



1. もくせいの杜心理相談室とはどんな活動をしているところですか？

もくせいの杜心理相談室は東京西法務少年支援センター（東京西少年鑑別所）に併設されており、地域の青少年や一般の方が抱える様々な悩みの御相談に、心理学や教育学等の専門職員が応じています。
相談の内容は、非行や犯罪行為、それに関連する親子関係、交友関係などについて対応していますので、まずはお気軽に御相談ください。個別の相談のほか、講演や研修、出前授業（法教育）にも対応しています。

2. 利用するにはどのようにしたらよいですか？利用時間などは決まっていますか？

予約制になっています。まず、お電話をいただき、受付職員がお困りの件について概要を確認させていただきます。その上で、お受けできるかどうかを検討し、後日、担当者から改めて電話で連絡させていただきます。連絡をお返しするのに、1～2週間ほど見ていただければと思います。

利用時間：平日の午前9時から午後5時まで（午後0時から午後1時までを除く）
受付時間：平日の午前9時から午後4時半まで（午前11時半から午後1時までを除く）

3. 利用できる対象者は定められていますか？

問題を抱える御本人や御家族、支援されている関係者の方々などの御相談に応じています。対象者の年齢に制限はありませんので、成人の方も御相談いただけます。

4. 料金はかかりますか？また、知能検査や心理検査を実施してもらえますか？

すべて無料ですが、電話相談の場合の通信料は御負担いただきます。心理相談を進める中で、知能検査や心理検査を実施した方が問題の解決につながると判断される場合、職員から提案させていただきます。御本人や保護者の方の同意が得られれば、検査を実施する流れとなります。結果の独り歩きを防ぐため、知能検査を実施するだけの関わりはしておりません。また、障害の有無を判定することはできませんので、あらかじめ御了承ください。

5. 相談例

相談例①

親の財布から金銭を持ち出すという中学校1年生の息子さんについて、御両親から相談を受けました。担当者は息子さんが金銭を持ち出すきっかけを確認し、対処方法について継続的に助言を行いました。その後、御両親と息子さんとで話し合う機会が増え、息子さんが自分の気持ちを御両親に話すようになった頃、金銭を持ち出す息子さんの行為はなくなりました。

相談例②

学校内での暴力行為やいじめについて、高校から、生徒への対応や先生への助言を依頼され、学校にうかがって授業や休み時間の様子を見たり、生徒や先生と面接したりしました。生徒の心情や背景にある発達等の特性を把握し、先生に対して、生徒への接し方や指導方法について助言しました。生徒は徐々に学校で落ち着いて過ごせるようになり、無事に卒業することができました。

※事例はプライバシーに配慮し、個人が特定されないように加工しています。

所在地	東京都昭島市もくせいの杜2-1-1	電話番号	相談専用:042-500-5295 講演受付:042-500-5299
アクセス	JR東中神駅から徒歩20分	FAX	042-500-5293
	JR東中神駅からバス乗車5分「西武蔵野」下車、徒歩5分	メール アドレス	なし



1. 社会福祉協議会とは、どんなところですか？

「誰もがふつうにらせるしあわせなまち立川」を実現するために、地域の皆さんや、ボランティア・福祉施設・企業等、関係機関と、ともに考え、実行していく民間の社会福祉団体です。(社会福祉法第109条)

<事業内容>

- ・暮らし・しごとサポートセンター(生活やお金についての相談支援)
- ・地域包括支援センター(高齢者の介護や認知症についての相談支援)
- ・相談支援包括化推進員(ひきこもり、ヤングケアラー、複合的な課題を抱えている世帯の相談支援)
- ・介護保険事業(居宅介護支援、訪問介護、通所介護)
- ・地域あんしんセンター(後見人制度などの相談支援)
- ・市民活動センター(ボランティアやフードバンク)
- ・障害者支援(地域活動支援センター、生活介護支援、就労継続支援事業所、小中学校介助員派遣、総合支援ホームヘルプサービス) など

2. 立川市暮らし・しごとサポートセンターではどんなことができるのですか？

生活の悩み、仕事のことなど、お困り事、不安をお聴きし、その方が抱える課題を整理します。そして、解決方法を一緒に考えます。状況に応じて、使える制度や適切な窓口をご案内し、自立に向けた相談支援を行います。

<申請ができる制度>① 生活支援資金(教育支援資金など) ② 受験生チャレンジ支援貸付(塾代と受験料)

③ 住居確保給付金(就職活動中の家賃補助、転居費用補助)

<目標を設定して支援>①就労支援(仕事を探す) ②家計相談支援(債務、収支の確認)

3. 相談をしたい時はどのようにしたらよいですか？

来所する場合は、予約制になっています。まずは、電話でご相談ください。受付職員がお困りの事について、概要を確認させていただきます。それぞれの制度には、要件があります。対象となるようであれば、後日、必要書類等を持って来所していただき、具体的な制度のご案内をさせていただきます。

各制度をご利用いただくには、必要書類が整って申請書類を提出いただいてから、審査機関での審査があります。実際に、制度が利用できるかの決定には、1か月以上の期間がかかりますので、余裕をもってご相談ください。

4. 相談する際の利用時間や受付時間は決まっていますか？

<利用時間>

平日(月～金): 午前8時30分から午後5時まで (来所する場合は、午後4時までには来所いただいています。) 土・日・祝日 休み

事前に電話で ご予約をお願いいたします。相談は、すべて 無料です。

所在地	東京都立川市富士見町2-36-47	電話番号	042-503-4308
アクセス	JR立川駅北口より徒歩15分、JR西立川駅より徒歩8分	FAX	042-526-6081
	JR立川駅北口バスターミナルよりバス「富士見町二丁目」下車、徒歩3分	メールアドレス	なし



● 認定 NPO 法人育て上げネット

1. どんな活動をしているところですか？

すべての若者が自分に合った「働く」と自分に合った「生き方」を実現することを目指し、概ね 15 歳～39 歳までの若者と、その保護者への支援を行っています。

<たちかわ若者サポートステーション>厚生労働省の委託で運営している、職業的自立のための総合相談窓口です。15～49 歳の方を対象に、無料でご利用いただけます。

<ジョブトレ>働く気持ちがありながら一歩を踏み出せない若者向けの職業訓練プログラム（定期的に通所し様々な体験を行い、社会人基礎力を身につける。インターン等も可能。）

<子どもの将来相談窓口 結（ゆい）>「わが子」が一歩を踏み出すことをサポート。ご家族のみでご利用をはじめることができ、就職、復学など、具体的な目標を決め、実現のためにスタッフが伴走。

<オンライン相談(アトオシ・オンライン)>「寝ながらできるはたらく相談」をキャッチフレーズに個別の相談・多様なプログラムをオンラインで実施。自宅にいたままスマホからでも相談や講座が受けられる。

2. 利用するにはどのようにしたらよいですか？

まずは、相談窓口までご連絡ください。

相談窓口：法人本部（立川市高松町 2-9-22 生活館ビル 1 階 TEL:042-527-6051）

日時：月～土（10 時～17 時）※日曜日、祝日は閉所

各プログラムの利用方法は以下の通りです

- ・電話もしくはホームページから予約：たちかわ若者サポートステーション/ジョブトレ
- ・ホームページから予約：結（<https://yui.sodateage.net/>）
- ・ホームページから予約：アトオシ・オンライン（<https://atooshi.online/>）

3. 利用できる対象者は定められていますか？年間どれくらいの方が利用しますか？

【対象者】

- ・たちかわ若者サポートステーション：15 歳～49 歳までの就労について悩む若者
- ・ジョブトレ：概ね 15 歳～39 歳までの就労について悩む若者
- ・結：子ども・若者に悩みを持つご家族
- ・アトオシ・オンライン：15 歳から 29 歳の方、「はたらく」でお悩みの方

【利用者数】

- ・たちかわ若者サポートステーション：年間 100 名以上の方が新規登録しています
- ・ジョブトレ：随時 20 名～25 名の若者が登録/通所（いつでも入会可能）今まで 300 名以上の若者が利用、8.5 割以上の若者が就労
- ・結：年間 40 名近くの方が新規登録
- ・アトオシ・オンライン：年間 150 名以上の方が新規利用中

4. 利用はすべて無料でしょうか？

・たちかわ若者サポートステーション/アトオシ・オンライン：無料

・ジョブトレ：ジョブトレ：体験利用は無料。原則有料のプログラムですが、経済状況や家族関係など、支出が難しい状況に応じて減免制度を設けています。個別ご相談ください。

・結：初回相談は無料。利用料は 5,500 円/月から。利用費の負担が難しい場合は減免できる場合があります。個別ご相談ください。

所在地	東京都立川市高松町 2 丁目 9-2 2 生活館ビル 1 階	電話番号	042-527-6051（育て上げネット） 042-529-3378（たちかわ若者サポートステーション）
アクセス	JR 中央線立川駅北口 から徒歩 15 分	FAX	なし
		メール アドレス	info@sodateage.net

在校生がみなさんの質問に答えます！

私たち合同学校説明会ボランティア部では、皆さまからいただいた質問をもとに、合同学校相談会に参加している学校（高校）に通う高校生達にアンケート調査をしました。

ぜひ学校を選ぶ際にご参考にしていただけましたら嬉しいです！

アンケート回答にご協力いただいた 137 名の方々もありがとうございました。

制作物チーム スタッフ



つぼみちゃん

質問①

学校選びで重視したこと、もしくは、重視すればよかったと思うことはありますか？

第 1 位 学校の雰囲気、先生との距離感

「学校見学を通して実際に校内の雰囲気を感じ取ることも重視した点です」

「学校見学に行って、先生や生徒の方々の雰囲気が自分にあっているか」

「生徒や先生の関わり方・楽しさで選んだ」

「先生や先輩、校舎内での雰囲気が良いか」

「パンフレットを読んだ時の雰囲気はわりと重視したほうがいい、キラキラしすぎてまぶしいとか」

「もう少し体験授業などで学校の雰囲気を重視したかった」

「その学校内での雰囲気をちゃんと見ればよかった」

第 2 位 家から学校まで行くのにかかる時間

「アクセス重視の方がいいです」

「通いやすい点を重視しました」

「距離は大事（30分～40分）で通学できるのがベスト」

「通学時間は 1 時間未満が理想！満員電車はかなり辛い」

その他

● 学校の設備

「校舎があること」「校内の清潔さ」

「校舎や体育館など設備がしっかりしていること」

● 校則

「髪色やファッションなどが自由だったから」

「校則が自分にあっているか」

「バイトできるかどうか」

● 勉強

「不登校だったので一から学びなおせることを重視していた」

「自分のやりたい勉強ができるかを重視」

「自分の学習ペースとマッチするか」

● 進路

「進路や就学率を重視して選びました」

第 3 位 学校に行く頻度など

「行く曜日、日数を選べるかどうか」

「登校日の自由度の高さ」

「登校スケジュール 週 5～週 1 など」

「スクーリングの回数、進路や就学率を重視して選びました」

「今思えばある。週一登校くらいの学校が良かったかな、と思っています」

<こうやって選びました！>

「自分が学校に通っているイメージがつくつかつかないか」
「自分がきちんとその学校に通えて卒業できるか」を重視しました」
「直感で違和感が少しでもあったら解決しておくべき！」
「当時不登校だった自分でも通いやすくて楽しく勉強出来そうなことを重視しました」
「自分に本当にあっているか足を実際に運んでみればよかったと思っています」

質問②

中学生のときから自分が変わったなと思うことがあれば教えてください



通信制の高校は5教科外（音楽や美術など）を得意としている生徒が過ごしやすい環境なので、そういった類の趣味を持っている人はかなり活き活きと学生生活を過ごせる。何より自信がついた。

人と関わるのが好きになったし、初めて学校が好きだと思えたことです。

やりたいことを言い出せるようになった。

どのように勉強するか、人間関係をよくしていくか自分から考えるようになった。今まで自分のことしか考えていなかったのが、相手のことも少し考えられるようになった。

自分の時間が増えたことで、自分自身の特性や好きなことを見つけられた。これらが自信につながっている。

自分から人に対して積極的に話せるようになった。

余計な心配が無くなって穏やかになりました。また、計画性が見に着きました。

何かをやってみたいと進んで思うようになった。

授業についていくことができるようになった。

周りの方に助けてもらいながら困難を乗り越えられるようになったことです。

人の言葉を素直に受け止められるようになった。
また、自分らしくいられるようになった。

ネガティブに考えがちだったけど今は何事もポジティブに考えられるようになった。

様々な人がいることを知れました。
そして相手の価値観を今までよりも許容できるようになりました。

全てを完璧にしようとしすぎるのではなく、多少休んでも大丈夫なことを学んだ。

自分から勉強に取り組めるようになった。登校や休みの日の外出をしたいと思うようになった。

質問③

高校生活で楽しいことはどんなことですか？



通信制なのでマイペースに過ごせること。

好きな授業を選んで受けることができること。

先生と話したり友達と話したりすること。
授業も楽しいです！

自分の好きなことを追求でき、自分らしく過ごせること。様々な人と会えたこと。

部活動で仲間たちと楽しくスポーツをすること。

調理実習

友達と休み時間やお弁当のときにしゃべる時。

友達と放課後遊んだり、学校でのイベント（文化祭等）に参加したりすること。

質問④

生活リズムをどう整えていますか？



11時になったらスマホを見るのをやめて寝る努力をする。

朝ドラをリアタイすること。

夜のパソコンやスマートフォンの利用時間を少なくすること。

自分で強い意志を持ち、リズムを整えるようにする！（無理なときは無理で全然ok!）

自分はあまりできていない点ですが、運動や良い食習慣、早起きだけでなく早寝もしっかりして体調を整えることなどが大切だと思います。

あんまり生活リズムは整われていません。

整ってないから分からない。

できるだけ一限から参加出来ることを目標にしながら行動しています。前の日に予定や目標を立てて生活しています。

かなり不安定で休みの日とかは昼夜逆転しています。翌日に学校があるときに戻して、という生活をしています。



質問⑤

(通信制高校の方へ) レポート提出の計画などはどのように立てていますか？



スケジュールアプリに期限をメモしておいていつでも確認できるようにしながらレポートを進める。

空いた時間にできるだけ早くレポートをやる。先生と相談して少しずつ終わらせている人もいる。

計画立てるのは苦手だからとりあえず空き時間にコツコツ進める。

手帳にレポートの締切日を記入し、どの日にやるか手帳に記入して計画を立てている。

先生とやっているなので、計画を立てるというよりは自然と提出できるようになっています。自分でやる物もあるので、学校でやるようにしています。

なるべく早くやるように心がけているけど結局ぎりぎりになってしまう。

ふとした瞬間にやったりしています。計画もある程度立てますが、がっちり計画を立ててもそれに固執しちゃダメだし、それだとつらい気がする。

計画を立てるのがとても下手なのでギリギリに済ませている。

まず一人でできそうなやつからやる。一人でできないやつは先生や他の人とやる。





質問⑥

(通信制高校の方へ) スクーリングはどんな感じですか？

普段しないことをやったり、知らない人と関わったりして疲れるが、楽しく行けた。スクーリングの授業はそんなに難しくないの心配しなくてよかった。

とにかく楽しい!!ということだけじゃなく、もちろん楽しくないこともあるけどそれも含めて全部思い出になる大切なスクーリングだと思っています。よほどの事がない限り、普通に過ごせると思います。

皆、落ち着いた雰囲気の中行われます。無理に発表することもなく、落ち着いて学習に取り組めます。人と話す機会は自分次第ですが、話し始めると皆良い人ばかりで楽しいです。

時間が長くてつらいが、月1回くらいなのでがんばれる。

先生から指名されて発言するということは少なく、あっても生徒間での意見交換程度なので、人と会話することが苦手な人でも緊張せずにスクーリングに出席できると思います。

みんなそれぞれの学校生活を楽しんでいて、友だち作りに声をかけている人や勉強している人、一人で静かに過ごしている人など色々です。授業の雰囲気はみんな静かに過ごしていて、先生の話をよく聞いている感じがします。

最初は知らない人だらけで緊張や不安はあったけど、慣れてくれば全然大丈夫だし、むしろ楽しみのほうが多い!!



立川市子ども・若者自立支援ネットワーク事業について

立川市では、平成24年度より社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者を教育、福祉、保健・医療、矯正・更生、雇用、その他の各分野の行政、NPO、社会福祉法人等によるネットワークを活用して、支援機関・団体が実施するそれぞれの特性にあった支援事業につなぐ事業を行っています。

市内には、「たちかわ若者サポートステーション」をはじめ多くの支援機関・団体があります。その支援機関・団体が実施している事業の対象から外れてしまう方や、その事業では支援が困難な場合など、ネットワークに参加する機関・団体（下表参照）で検討を行い、ご本人にとって適切と思われる事業を実施している支援機関・団体に支援の依頼を行っています。

ひきこもり、ニート、不登校等、困難を抱えている子ども・若者を、ネットワークを活用して、就労だけでなく、就学や社会的な自立に導く支援をする事業です。

また、困難を抱える子ども・若者、保護者、地域支援者の方を対象に研修会など、この事業を広く市民に周知するためのイベントを毎年開催しています。

分野	機関・団体名
教育	立川市 教育部指導課 立川市 教育部教育支援課 東京都立立川高等学校 定時制課程 東京都立砂川高等学校 定時制課程 東京都立砂川高等学校 通信制課程 東京都立秋留台高等学校 東京都立青梅総合高等学校 定時制課程 東京都立五日市高等学校 全日制課程 東京都立五日市高等学校 定時制課程 東京都立立川緑高等学校 おおぞら高校 立川キャンパス 星槎国際高等学校 立川学習センター 第一学院高等学校 立川キャンパス 鹿島学園高等学校 立川連携キャンパス ヒューマンキャンパス高等学校 立川学習センター 学研WILL学園 立川キャンパス 一ツ葉高等学校 立川キャンパス あずさ第一高等学校 立川キャンパス GRES 高等学院 NHK 学園高等学校 ID 学園高等学校 立川キャンパス クラーク記念国際高等学校 立川キャンパス
福祉	立川市 福祉部障害福祉課 立川市 福祉部生活福祉課 立川市 福祉部地域福祉課

	<p>社会福祉法人立川市社会福祉協議会 社会福祉法人立川市社会福祉協議会 立川市くらし・しごとサポートセンター 東京都立川児童相談所 東京都立川児童相談所 フォスタリング機関 社会福祉法人カリヨン子どもセンター とびらの家 社会福祉法人至誠学舎 至誠学園</p>
保険・医療	東京都多摩立川保健所
矯正・厚生	東京西法務少年支援センター
雇用	<p>立川市 産業まちづくり部産業観光課 ハローワーク立川（立川公共職業安定所） 公益財団法人 東京しごと財団 東京しごとセンター多摩 東京障害者職業センター多摩支所 障害者就業・生活支援センターオープナー 認定 NPO 法人育て上げネット たちかわ若者サポートステーション</p>
その他	<p>立川市 子ども家庭部子ども家庭センター 立川市 子ども家庭部子ども政策課 立川市 子ども家庭部子ども育成課</p>
オブザーバー	<p>国立市 子ども家庭部児童青少年課 国立市 子ども家庭部子育て支援課 国分寺市 子ども家庭部子ども若者計画課 昭島市 子ども家庭部子ども家庭センター 多摩少年院 東京家庭裁判所立川支部 大原学園美空高等学校 東京立川キャンパス</p>

令和8年6月28日

定時制・通信制高校等合同学校相談会

～参加校・団体紹介～

【 発 行 】

立川市子ども家庭部子ども育成課青少年係

〒190-0022

立川市錦町3-2-26

立川市子ども未来センター1階

☎042-523-2111（内線）1302

